

# 2024年3月期 第3四半期 決算報告

2024年2月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life  
Holdings

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.14
● グループEEV	P.23
● 参考データ	P.26

## 主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2023/12末	141.83円	157.12円	96.94円
2023/9末	149.58円	158.00円	96.06円
2023/6末	144.99円	157.60円	95.77円
2023/3末	133.53円	145.72円	89.69円
2022/12末	132.70円	141.47円	89.57円
2022/9末	144.81円	142.32円	94.17円

## グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイペット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	

## その他事業(アセットマネジメント事業)

AMOne	アセットマネジメントOne	49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ	100%	

## 連結業績

## グループ修正利益通期見通し2,700億円に向け、高い進捗率

### グループ修正利益

2,146億円

国内 1,484億円

海外 626億円

- ▶ 対通期利益予想進捗率:80% – グループ全体で高い進捗率（前年同期比+30%）

国内

DLにおける利配収入減、DFLの販売増を起因とする減益等を保険関係損益の改善で相殺し、前年同期比増益。通期見通しに対しては国内全体で78%と高い進捗率

海外

TALが経済環境要因でやや前年同期比減益となった他、PLCが引き続き低い進捗に止まるも、海外全体の進捗は74%とほぼオントラックの進捗

## トップライン業績

## DFLが引き続き好調な販売を維持し、グループ全体を牽引も、新契約価値は苦戦

### グループ新契約実績

新契約ANP

3,782億円

国内 2,892億円

海外 890億円

新契約価値  
(国内概算値)

約90億円

- ▶ 前年同期比+25% ※為替影響除く

国内

米ドル建て商品に加えて円建て商品の販売好調等を背景にDFLが高い販売量を維持し、国内全体で+40%

海外

銀行チャネルのモメンタム低下等の影響で、DLVNが前年同期比で大きく減少  
海外全体で△7% ※為替影響除く

- ▶ 前年同期比△65%

DLにおける販売量低迷、DFLにおいて資産運用の実態をEV計算上の利回りに反映できない影響が大きくなったこと等により前年同期比で減少

## 健全性

## 米国金利・インフレ率上昇等の影響で、ESRは3月末対比で低下

### 資本充足率(ESR)

(概算値)

約222%

- ▶ 前年度末比 △4%pt

株価上昇等により自己資本・リスク量ともに増加も、米国金利の上昇や、インフレ率上昇等に伴う将来の事業費増加による保険負債増加の影響もあり、ESRは3月末対比で低下

## トピック

## ベネフィット・ワンの完全子会社化に向けた公開買付け(TOB)の実施

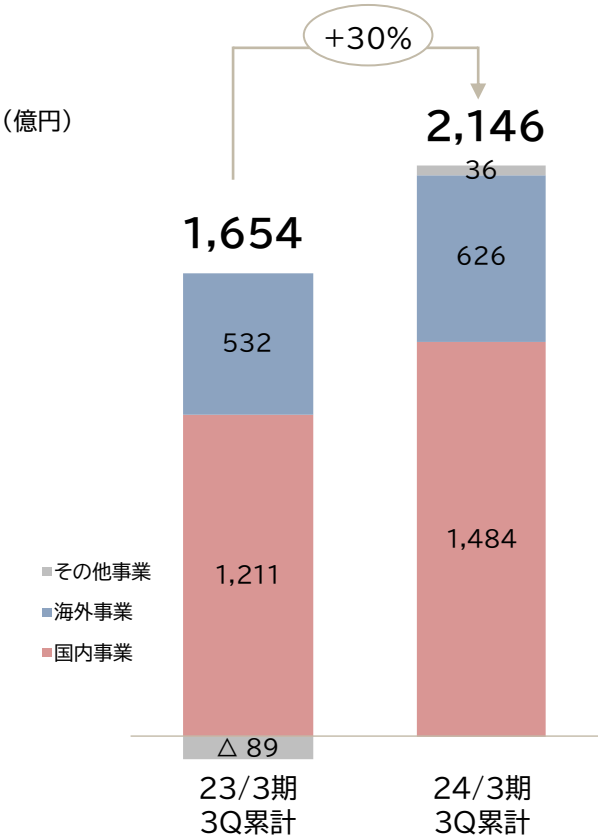
# 決算のポイント – グループ修正利益（国内・海外別進捗状況）

- 国内事業全体の通期業績予想に対する進捗は順調

販売好調に伴う新契約獲得費用や準備金繰入れの増加等によりDFLは低進捗に留まったが、DL運用収支が利配収入増収や国内株売却を早期に進めた結果を受け計画比上振れ。国内全体で順調な進捗
- 海外事業全体の通期業績予想に対する進捗は順調

1QにFRC<sup>(1)</sup>破綻に伴う損失を計上したPLCの進捗率は低く留まった。TALは当3Qでの金利低下に伴い前年同期比で減益となるも引き続き高い進捗。海外全体での進捗は74%

グループ修正利益(国内・海外)



対通期業績予想の進捗状況(国内・海外)

		グループ修正利益	進捗率 (対通期業績予想)	(参考) 前年同期比
グループ連結		2,146億円	80%	+30%
国内事業		1,484億円	78%	+23%
DL	オルタナティブ資産や投資信託を中心に利配収入が上振れた他、国内株式の売却進捗が予定より早かったこと等を主因に運用収支が予算を超過、通期業績予想に対する進捗は順調	1,642億円	89%	+14%
DFL	販売好調に伴う新契約関連費用(代理店手数料支払い等)や準備金繰入れ等が増加し、引き続き低調な進捗	△166億円	-	-
海外事業		626億円	74%	+18%
PLC	円安による恩恵があったものの、1QにFRCの破綻に伴う損失を計上したことに加え、保険前提の見直しによる減益もあり、通期進捗率は引き続き低位に留まる	120億円	30%	+310%
TAL	基礎的収益外損益について当3Qは金利低下の影響で悪化も、堅調な基礎的収益が下支えし、引き続き通期見通しを超え高い進捗を維持	355億円	142%	△6%

(1) FRC: ファーストリパブリックバンク  
(2) 事業別・各社別の修正利益については、米PLCの修正後発事象およびDL・DFL・NFLにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示

# 決算のポイント – グループ修正利益・連結純利益(前年同期比増減)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

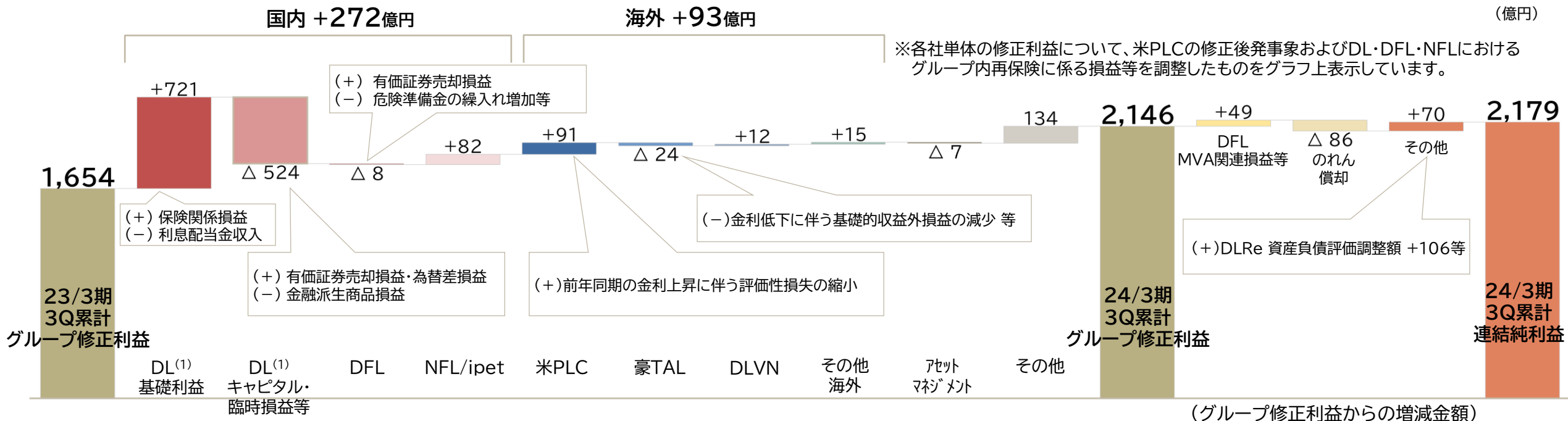
その他事業

Dai-ichi Life Holdings

- ▶ グループ修正利益は前年同期比+30%の2,146億円。DLが利配収入の減少や金融派生商品損益の悪化を保険関係損益の改善で相殺し前年同期比で増益。DFLは新契約販売に伴う費用の増加等が利益の押下げ要因となり、前年同期比減益。PLCは金利上昇に伴う評価性損失が縮小し、グループ修正利益への貢献額では前年同期比で増加。TALは3Qの金利低下により基礎的収益外損益が減少し、前年同期比で減益
- ▶ 連結純利益は、上記に加えDLReの資産負債評価調整額等の増益要因が、のれん償却額等の減益要因を上回り、前年同期比+42%の2,179億円

## グループ修正利益・前年同期比変動要因

## グループ修正利益・連結純利益の差異



	24/3期 3Q累計	2,231	Δ588	Δ166	8	120	355	116	33	25	10	2,146	+49	Δ86	+70	2,179
	23/3期 3Q累計	1,509	Δ65	Δ157	Δ74	29	380	104	18	33	Δ123	1,654	Δ40	Δ64	Δ15	1,533

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含まれる

(2) 24/3期からTAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期3Q累計)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正し、グループ連結の数値についても修正を反映

# 決算のポイント – 国内新契約価値・資本充足率(ESR)

グループ連結

海外保険事業

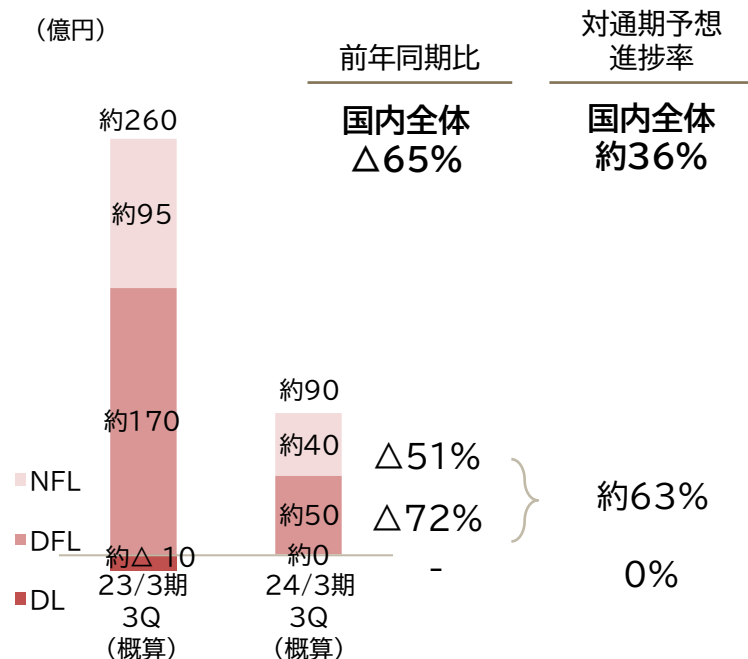
国内保険事業

その他事業

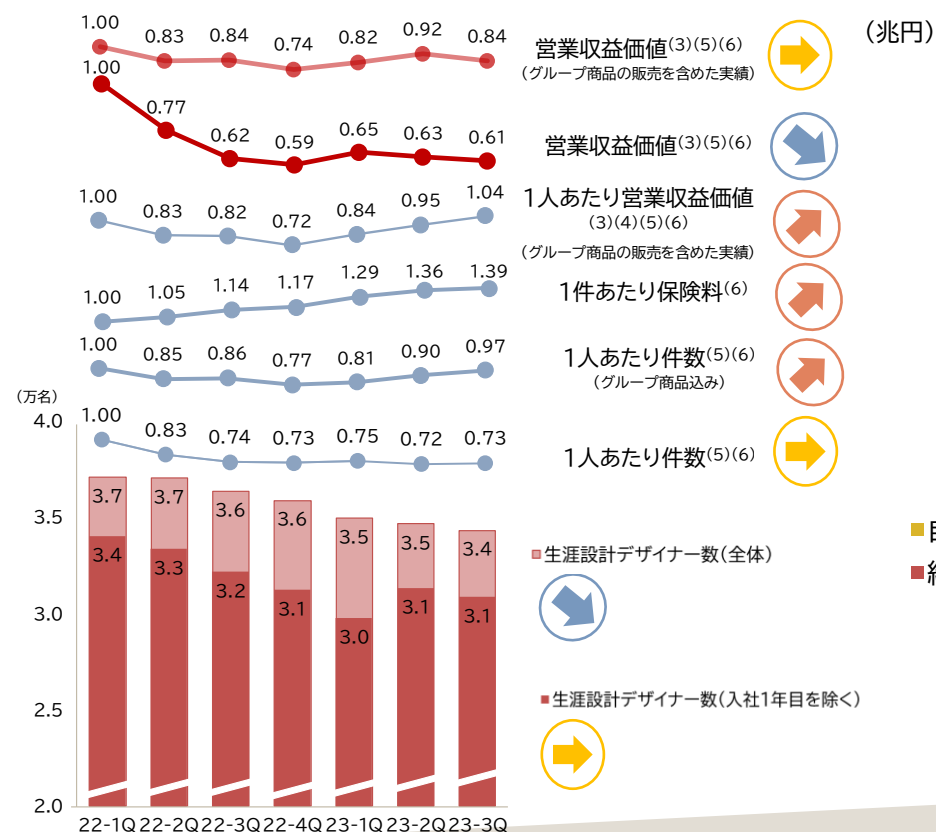
Dai-ichi Life Holdings

- ▶ 新契約価値(国内)については、陣容の縮小等を要因として販売量が低い水準に止まったDLで約0億円。DFLにおいては、強い新契約販売のモメンタムが続くものの、計算上の利回りに反映しない部分の影響が大きくなったことにより、前年同期比で大幅に減少。NFLについても競争環境の激化や商品の小口化が進んだことにより減少。国内全体の新契約価値の通期見通しへの進捗は36%と苦戦
- ▶ ESRについては、株価上昇等により自己資本・リスク量ともに増加も、米国金利の上昇や、インフレ率上昇等に伴う将来の事業費増加による保険負債増加の影響もあり、前期末比で△4%の222%

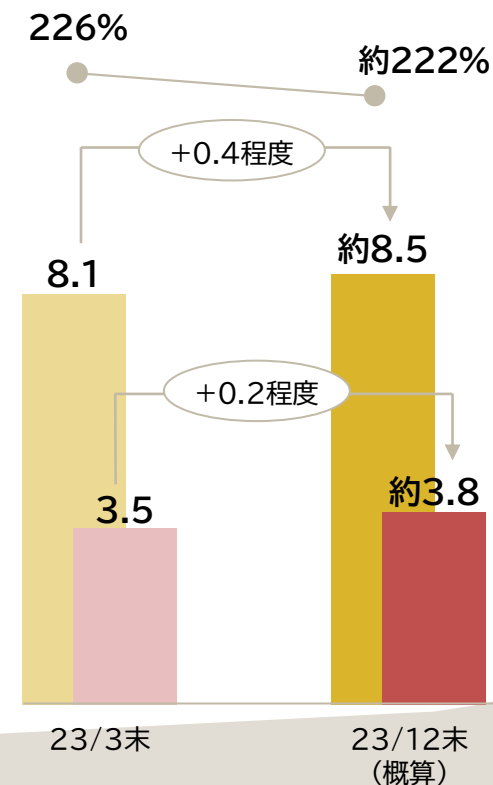
## 国内新契約価値(概算値<sup>(1)</sup>)



## DL新契約要因分解(生涯設計デザイナーチャネル)<sup>(2)</sup>



## 資本充足率(ESR)



(1)計測対象および計測手法について一部簡便的な取扱いを行った概算値 (2) DL商品の販売に関する実績値を掲載 (3)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値  
(4)各期の営業収益価値を分子として計算 (5)1年目を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算 (6)2022年度1Qを1として指数化した数値



# 決算のポイント – 新契約・保有契約年換算保険料

グループ連結

海外保険事業

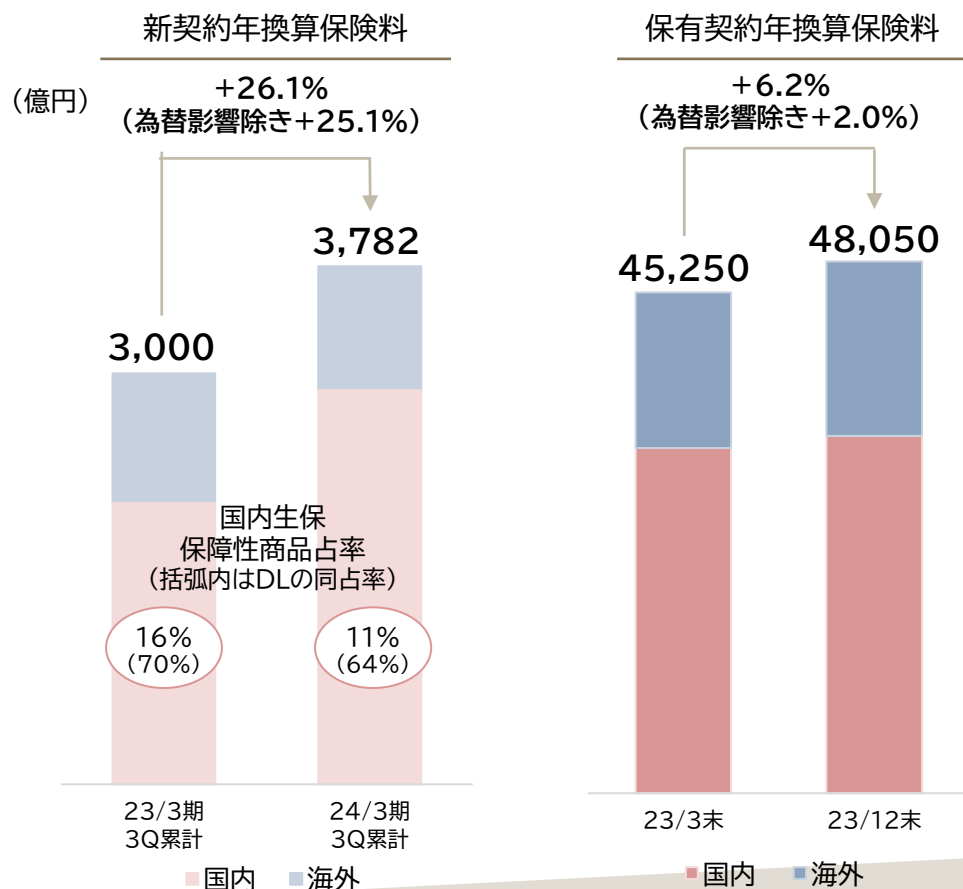
国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings

- ▶ 新契約ANPはグループ全体で、前年同期比+26%の3,782億円(為替影響除き +25%)
- ▶ 国内は、DFLが高い金利水準が続く米ドル建て商品等を中心に引き続き好調な販売量を維持し全社を牽引、NFLも前年同期を上回った結果、国内全体で前年同期比+40%。一方で、DL生涯設計デザイナーチャネルにおけるDL自社商品の販売については、前年同期比でマイナスが続く
- ▶ 海外は、DLVNで銀行チャネルの販売が大きく減少した影響等により、為替影響除きで前年同期比△7% (為替影響含み △4%)

## 新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



(億円)	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年 同期比	23/3末	23/12末	前期末比
<b>国内4社計</b>	<b>2,068</b>	<b>2,892</b>	<b>+39.8%</b>	<b>31,196</b>	<b>32,289</b>	<b>+3.5%</b> <b>(+2.2%)</b>
DL	358	338	△5.6%	19,977	19,523	△2.3%
うち第三分野	231	207	△10.0%	7,019	6,941	△1.1%
DFL	1,623	2,407	+48.3%	9,644	11,369	+17.9%
うちDLチャネル販売	450	552	+22.5%	-	-	(+13.6%)
NFL	86	97	+11.7%	1,248	1,044	△16.3%
うちDLチャネル販売	55	46	△16.9%	-	-	-
ipet	-	49	-	325	352	+8.1%
<b>海外6社計</b>	<b>931</b>	<b>890</b>	<b>△4.5%</b> <b>(△7.4%)</b>	<b>14,053</b>	<b>15,760</b>	<b>+12.1%</b> <b>(+1.5%)</b>
PLC	545	579	+6.1% (+2.8%)	6,805	7,977	+17.2% (+4.0%)
TAL	73	100	+37.1% (+26.7%)	5,496	5,909	+7.5% (△0.5%)
PNZ	-	27	-	500	552	+10.3% (+2.7%)
DLVN	306	172	△43.6% (△43.9%)	1,242	1,304	+5.0% (△4.0%)
DLKH/DLMM	5.6	9.4	+67.8% (+62.7%)	9.0	16.6	+84.4% (+63.7%)
<b>第一生命グループ計</b>	<b>3,000</b>	<b>3,782</b>	<b>+26.1%</b> <b>(+25.1%)</b>	<b>45,250</b>	<b>48,050</b>	<b>+6.2%</b> <b>(+2.0%)</b>

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

2024年3月期 通期業績予想

▶ DFLの保険料等収入増加や為替差益等の発生を受けて経常収益予想を上方修正

(億円)	23/3期 3Q累計 <sup>(3)</sup>	24/3期 3Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	23/3期 通期実績	24/3期通期予想		業績予想 増減額
							11月公表予想	今回	
連結経常収益	78,579	77,673	△ 905	△ 1%	76%	95,194	83,530	102,010	+ 18,480
第一生命	30,748	29,742	△ 1,006	△ 3%	83%	41,398	35,650	-	-
第一フロンティア生命	31,270	31,081	△ 188	△ 1%	73%	39,992	23,850	42,330	+ 18,480
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	12,062	8,807	△ 3,255	△ 27%	86%	12,931	10,280	-	-
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	6,386	6,522	+ 135	+ 2%	79%	8,331	8,290	-	-
連結経常利益	3,120	3,739	+ 618	+ 20%	80%	4,109	4,650	-	-
第一生命	2,920	3,069	+ 149	+ 5%	88%	3,535	3,490	-	-
第一フロンティア生命	△ 226	△ 153	+ 72	-	-	139	190	-	-
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	25	△ 9	△ 34	-	-	190	260	-	-
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	563	508	△ 55	△ 10%	130%	567	390	-	-
連結純利益 <sup>(2)</sup>	1,533	2,179	+ 645	+ 42%	80%	1,923	2,730	-	-
第一生命	1,444	1,683	+ 239	+ 17%	92%	1,656	1,830	-	-
第一フロンティア生命	△ 198	△ 129	+ 68	-	-	64	150	-	-
米プロテクティブ (百万米ドル) <sup>(1)</sup>	20	△ 9	△ 29	-	-	138	200	-	-
豪TAL (百万豪ドル) <sup>(1)</sup>	415	355	△ 59	△ 14%	132%	409	270	-	-
グループ修正利益	1,654	2,146	+ 492	+ 30%	80%	1,844	2,700程度	-	-
グループ新契約価値 <sup>(4)</sup>	-	-	-	-	-	712	250程度	-	-
1株あたり配当(円)						86	86	-	-
(参考)基礎利益	2,338	3,404	+ 1,065	+ 46%	79%	3,642	4,300程度	-	-
第一生命	1,509	2,231	+ 721	+ 48%	80%	2,571	2,800程度	-	-

(1) 米PLCおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益  
(3) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期3Q累計)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ修正利益についても遡及修正を反映)  
(4) グループ新契約価値は2Q・4Qのみ開示





# ベネフィット・ワン社の概要と、完全子会社化による戦略的意義・財務インパクト

- ▶ ベネフィット・ワン株式の公開買付(TOB)について、同社及び筆頭株主である(株)パソナグループと協議の結果、両社の賛同を得るに至り、TOBを実施
- ▶ 福利厚生アウトソーシングサービスでトップクラスのシェアを占めるベネフィット・ワン社を完全子会社化することで、当社における強固な顧客基盤の更なる拡大を目指しつつ、非保険領域の強化によるエコシステムの構築を図る。当社利益見通し・キャッシュ貢献についての影響はTOB完了後に開示予定

## 公開買付け(TOB)の概要

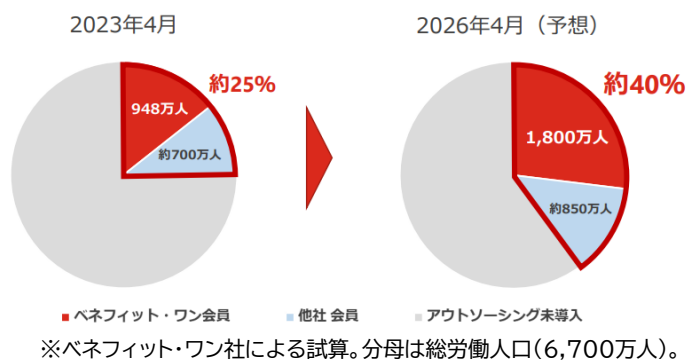
対象会社名	(株)ベネフィット・ワン (東証プライム)
従業員数 <sup>(1)</sup>	1,527名
経常収益 / 当期純利益 <sup>(1)</sup>	105億円 / 76億円
総資産 / 純資産 <sup>(1)</sup>	539億円 / 248億円
買付期間	2024年2月9日～3月11日
買付予定株数	全普通株式(下限: 所有割合の15.44%)
買付価格	2,123円→2,173円 (+50円)
プレミアム	11月13日終値に対し+86.84%
決済日	2024年3月18日
買付総額	1,680億円程度 (株)パソナグループが保有する株式の 取得を含めた総額は約2,920億円)

- ・ 買付予定株数<sup>(2)</sup>を取得できなかった場合、本公開買付けの成立後に、スクイズアウト手続きの実施を予定
- ・ TOB実施に当たり、(株)パソナグループと以下の内容に合意しております
  1. 本公開買付け及び本公開買付け以外の公開買付けへの不応募
  2. ベネフィット・ワンの株主総会に上程される所定の議案への賛成
  3. ベネフィット・ワンによる自己株式取得にて、売却予定株式を売却

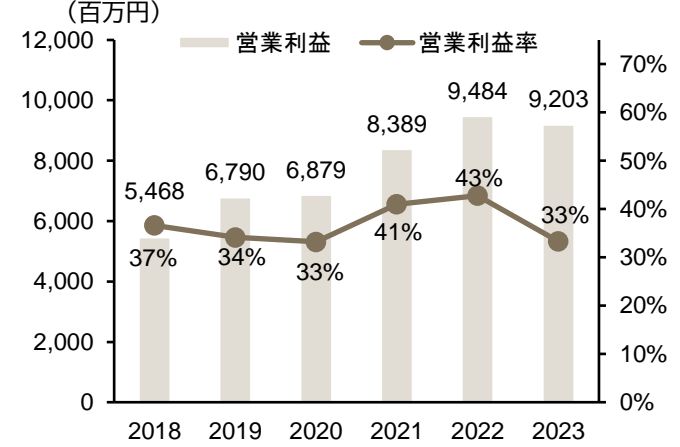
(1) 2023年3月末時点(連結) (2) (株)パソナグループが保有する51.16%分を除く全株式

## ベネフィット・ワン社の概要

### 福利厚生アウトソーシングサービスの普及率及びベネフィット・ワンのシェア



### 福利厚生事業の営業利益・利益率推移



## 戦略的意義

- ✓ 国内でのシェア増加を相互補完し、事業領域拡大に裨益するプラットフォームの獲得
- ✓ チャネル・顧客基盤等の連携等による、高い確度でのシナジー発揮
- ✓ 非保険領域において、国内で最も競争力のあるBtoBtoC型の福利厚生プラットフォーム機能の獲得により、エコシステム構築に向けた寄与

## 当社財務への影響

利益見通し ・キャッシュ貢献	TOB完了後に開示予定
グループESRへの 影響 <sup>(5)</sup>	約△8%pt低下を想定

# ベネフィット・ワンを中核に据えた「ベネフィット・ワン経済圏」の構築

- ▶ TOB予告以降、ベネフィット・ワンとの協議を通じて協業・シナジーの発現に係る確度が高まり、同時に利益実現への見込みも高まる
- ▶ ベネフィット・ワンのシステムを中心に据えた、Well-beingサービスを提供するエコシステムを構築し、ベネフィット・ワン経営陣を尊重した上で当社の資本やノウハウを提供する。両社一体となり「ベネフィット・ワン経済圏」を共に創造することを目指す



当社の顧客基盤の提供を通じた  
競争力強化・スケール拡大および  
保険会社としてのケイパビリティを活用した  
付加価値サービス・商品の提供

ベネフィット・ワンの将来的な競争力の  
源泉である「給トク払い」の  
サービス拡充と認知拡大

- ▶ ベネフィット・ワンのバリューアップ・シナジー発現に向けた専門の部署や新規会員獲得に向けた営業部隊の拡充等の体制整備を予定

健康経営実現に向けた付加価値の提供と  
お客さま体験価値の向上

- ▶ 両社サービスの一体提供によりお客さまの Healthcare well-beingに貢献

- ▶ 給与引システムである「給トク払い」の活用を通じ、コストシナジーの実現やサービスの拡充に取り組む予定

当社法人のお客さま数 **約160,000社**

ベネフィット・ワン  
福利厚生サービス  
導入企業数 **約15,600団体**

地域に根差した健康増進活動の推進

- ▶ 当社グループでは、「全47都道府県との協定」「全ナショナルセンターとの包括連携協定」を活かした、正しい情報提供や予防啓発の取組みを進めております。

ベネフィット・ワン「給トク払い」

- ▶ ベネフィット・ワンが提供する給与天引き活用による決済事業。提携先の割引サービスに関し、会員企業ごとに従業員の購買情報を取りまとめ、給与天引きの仕組みを活用して決済を行うことにより、中間マージンや広告宣伝をなくした、低コストのサービス。



## 「ベネフィット・ワン経済圏」の確立を通じた、国内保険事業の“深化”

- ▶ ベネフィット・ワン社のプラットフォームを活用したエンベディッドなサービスの提供は、当社の国内保険事業における“深化”に繋がるものと考えている
- ▶ またベネフィット・ワン社の提供する「支払い事業(給付金払い)」は、今後、当社とのシナジーによる会員基盤の拡大、導入・利用の促進を通じたコンテンツの質と量の拡充および認知度向上に努めることで、大きなシナジーの創出が可能と認識

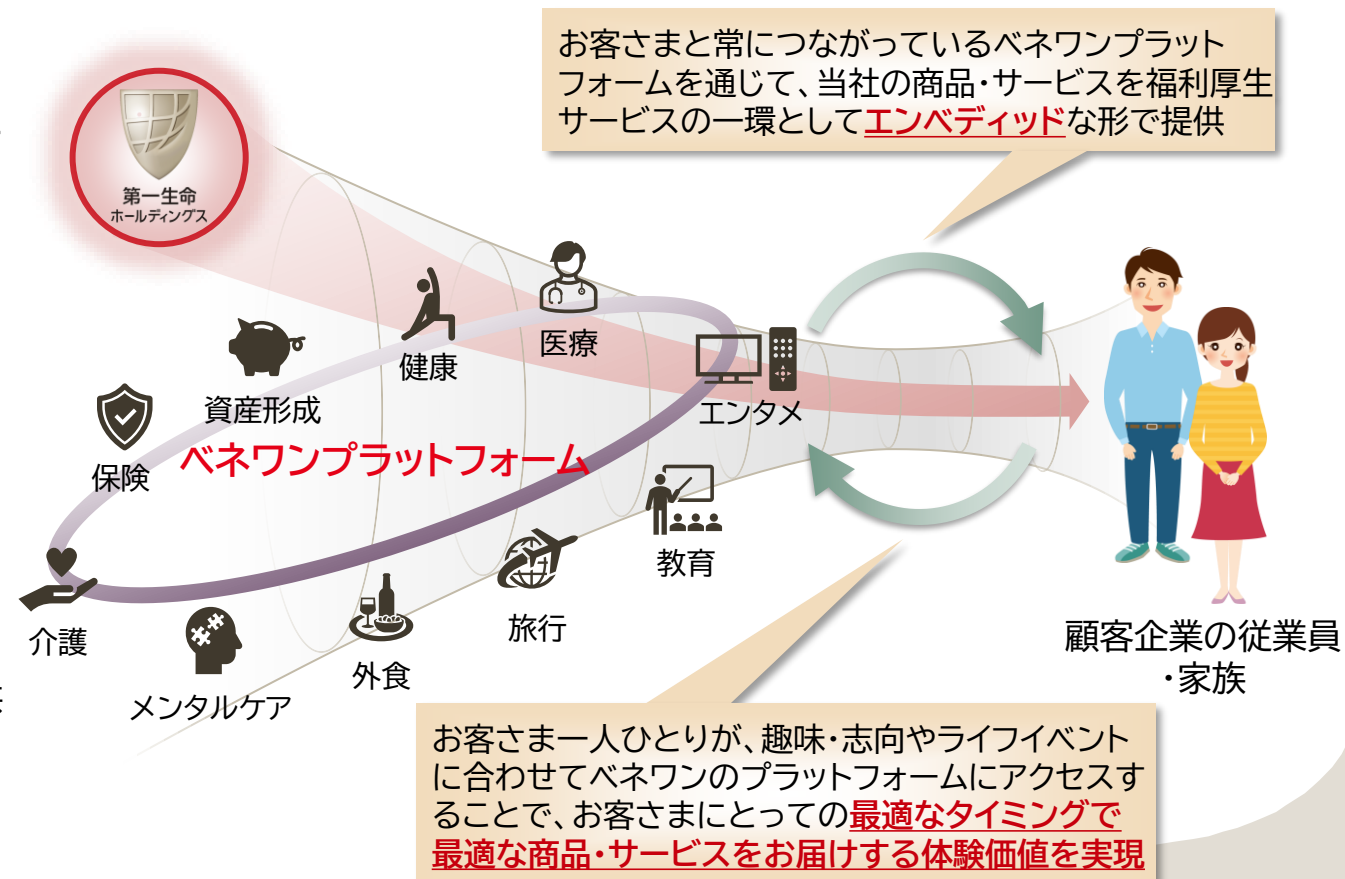
### エンベディッド・ファイナンスとしてのサービス提供

- ✓ 当社が保険会社として有する多様なケイパビリティ(保険・資産形成サービス等)を提供福利厚生サービスの一環として、ベネフィット・ワン社のプラットフォームを通じて提供



### 「給付金払い」促進向け商品の共同開発、同サービスの利活用

- ✓ 「給付金払い」の特徴に応じた、魅力的で付加価値の高い専用商品の共同開発を予定、エンベディッドなサービスとしてお客さまへ提供
- ✓ また「給付金払い」の利活用促進による当社既存事業の効率化





# 当社による公開買付け(“本公開買付け”)の主要な条件

- ▶ 当社は、2月8日開催の取締役会にて、本公開買付けを 1株当たり公開買付価格2,173円で2月9日より開始することを決定
- ▶ 本公開買付けは、ベネフィット・ワン特別委員会及び取締役会並びにパソナグループ(“パソナ”)との協議・交渉の結果を踏まえ、2月8日付でベネフィット・ワン取締役会より、本公開買付けへの賛同及びベネフィット・ワン株主に対する本公開買付けへの応募推奨を頂いている

公開買付者	▶ 第一生命ホールディングス株式会社
対象者	▶ 株式会社ベネフィット・ワン
公開買付期間	▶ 2024年2月9日から2024年3月11日まで(20営業日)
公開買付価格	▶ 1株当たり2,173円 <sup>(1)</sup>
プレミアム	<div> <div>基準日 2023年 11月13日</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基準日終値対比:86.84%</li> <li>▶ 1か月平均対比:104.42%</li> <li>▶ 3か月平均対比:95.24%</li> <li>▶ 6か月平均対比:66.77%</li> </ul> </div> </div> <div> <div>基準日 2023年 12月6日</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基準日終値対比:42.49%</li> <li>▶ 1か月平均対比:55.55%</li> <li>▶ 3か月平均対比:84.47%</li> <li>▶ 6か月平均対比:69.11%</li> </ul> </div> </div>
パソナとの合意書締結	▶ パソナが所有する売却予定株式について本公開買付け及び本公開買付け以外の公開買付けに応募しないこと、本公開買付けの成立後にベネフィット・ワンの株主を当社及びパソナのみとするためにベネフィット・ワンが行う株式併合の実施に必要なベネフィット・ワンの株主総会に上程される議案に賛成の議決権を行使すること、ベネフィット・ワンによる自己株式取得に応じて売却予定株式を売却すること等を内容に含む合意書を締結
買付予定株数の下限	▶ 24,511,300株 <sup>(2)</sup>
買付予定株数の上限	▶ 設定せず
総買収金額	▶ 292,057百万円(公開買付価格 168,130百万円 <sup>(3)</sup> + 自己株取得総額123,927百万円 <sup>(4)</sup> )

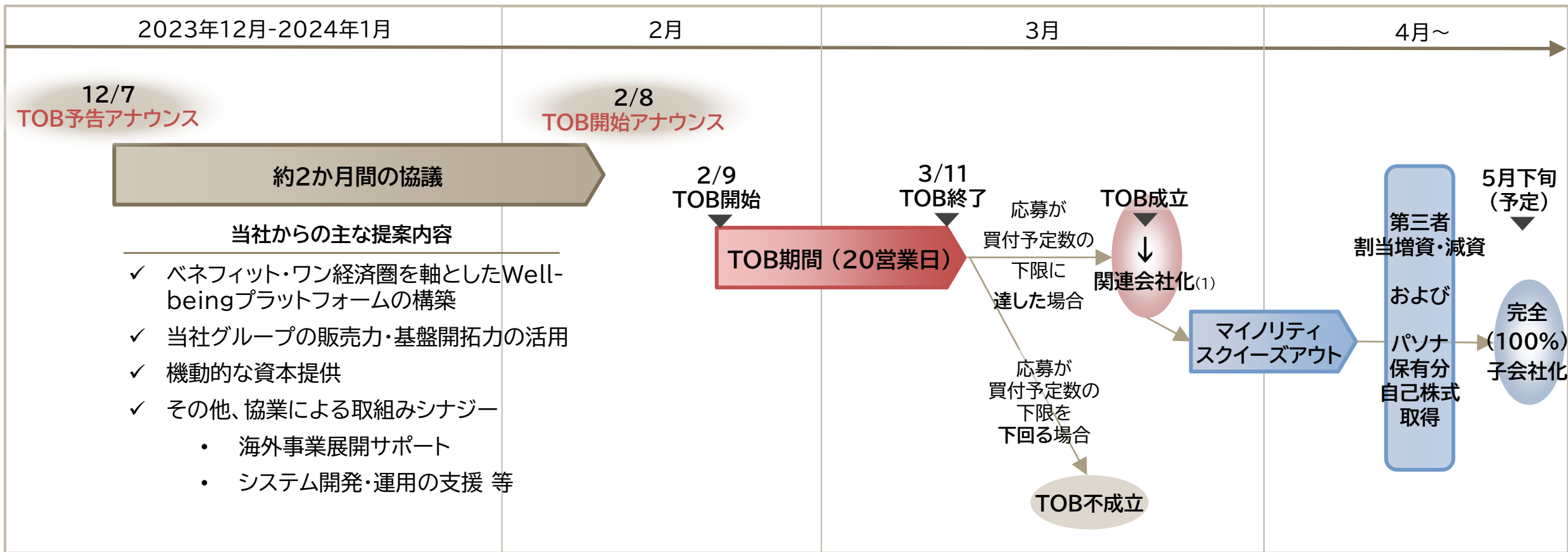
(1)株式価値の1,842円をベースに税務メリットを考慮して算出、(2)買付予定数の下限(24,511,300株)は、ベネフィット・ワン四半期決算短信に記載された2023年12月31日現在のベネフィット・ワンの発行済株式総数(159,190,900株)から、ベネフィット・ワンから説明を受けた同日現在のベネフィット・ワンが所有する自己株式数(450,388株)及び同日現在の株式給付信託(Board Benefit Trust)における所有株式数(157,920株)を控除した株式数(158,582,592株)に係る議決権の数(1,585,825個)に3分の2を乗じた数(小数点以下を切り上げ1,057,217個)から、パソナが所有するベネフィット・ワン株式(81,210,400株)に係る議決権の数(812,104個)を控除した数(245,113個)にベネフィット・ワンの単元株式数である100を乗じた株式数(24,511,300株)として算出、(3)買付代金は、本公開買付けにおける買付予定数(77,372,192株)に、本公開買付価格(2,173円)を乗じた金額を記載、(4)1株当たり自己株取得価格(1,526円)にパソナ保有株式数(81,210,400株)を乗じて算出





## 想定スケジュール

- ▶ 応募が買付予定数の下限に達した場合、TOB成立となり、ベネフィット・ワン社を関連会社化<sup>(1)</sup>の上、残る株式を少数株主から取得する。また、パソナ社保有分については、ベネフィット・ワン社による自己株式取得を行い、完全子会社化する予定



(1) TOB後の当社のベネフィット・ワンに対する保有議決権が20%以上となる場合

## 次期中期経営計画における財務戦略について

- ▶ ベネフィット・ワンのTOB実施に関する取組み資金については、グループ内ファイナンスを通じた手元資金で賄う想定
- ▶ 社内外のファイナンス活用や国内株式売却の加速等、機動的かつ柔軟な財務施策で戦略投資・株主還元に対する資本余力を創出し、次期中期経営計画の戦略投資・還元政策の方針は維持する

<11月28日決算経営説明会資料 抜粋>

### 財務戦略の次期中期経営計画に向けた方向性

- 2026年度末までに資本コストを上回るROEの達成
  - ➡ ROEが資本コストを上回るまでは株主還元重視の方針継続
- 3年間で約3,000億円規模の戦略投資
- 利益と余剰資本の安定化、株主還元の予見性改善
- 効率的なリスクの取捨選択、DL金利・国内株式リスクの削減継続
- 経済価値ベースの新資本規制を見据えた社内ESRの見直し

### <グループ財務余力拡大に向けた取組み>

- 社内外のファイナンスを活用
- 次期中期経営計画においても、市場関連リスク削減取組みを推進

変更なし

次期中期経営計画において、

- 海外事業を中心に、3,000億円程度の戦略投資
- 株主還元を優先した資本政策を継続



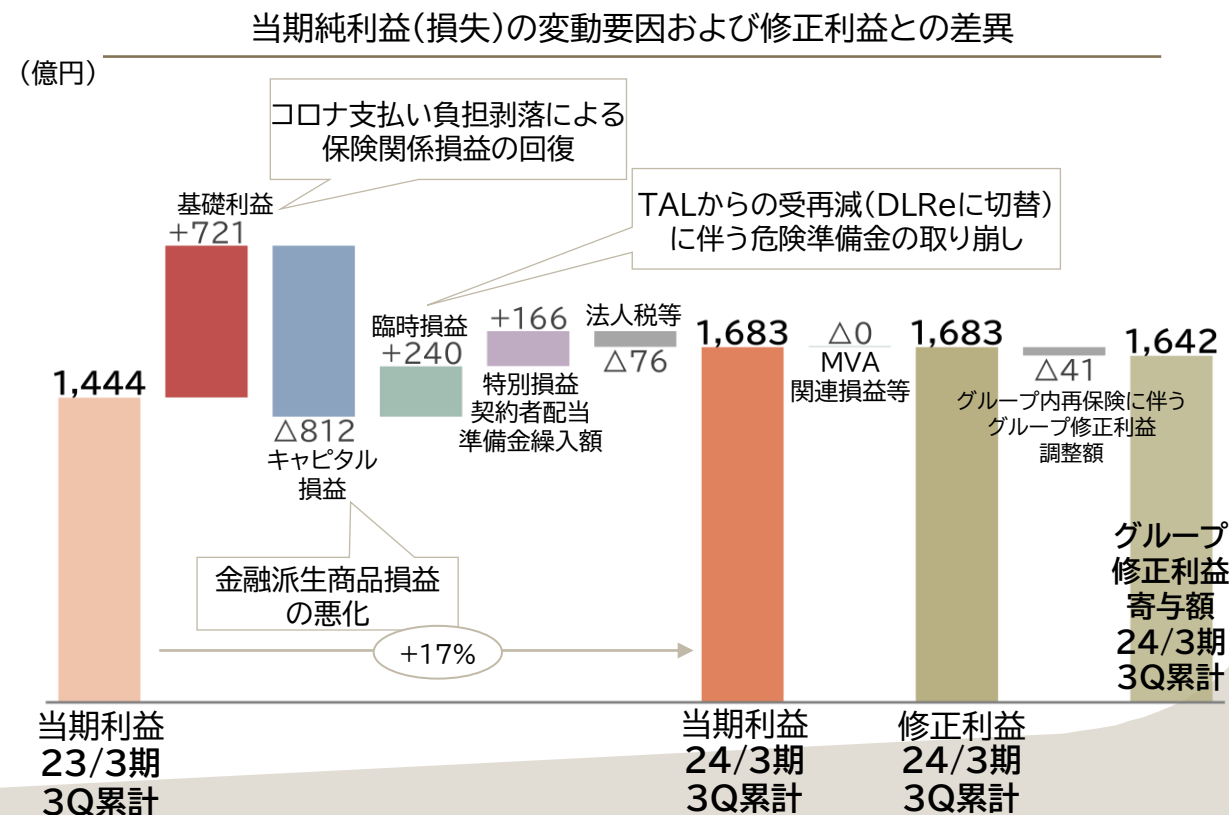
## グループ各社の業績概要

- ▶ 基礎利益は、ヘッジ外債売却に伴う利配収入減少があったものの保険関係損益の大幅な回復で相殺し、前年同期比+48%の2,231億円
- ▶ 修正利益は、上記に加えて金融派生商品損益の悪化等があったものの、前年同期比+17%の1,683億円

単体業績

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	17,236	16,895	△ 340	△ 2%
<b>基礎利益</b>	<b>1,509</b>	<b>2,231</b>	<b>+ 721</b>	<b>+ 48%</b>
順ざや	479	163	△ 316	△ 66%
うちヘッジコスト	△ 564	△ 548	+ 16	
保険関係損益	1,029	2,067	+ 1,037	+ 101%
<b>キャピタル損益</b>	<b>1,877</b>	<b>1,064</b>	<b>△ 812</b>	<b>△ 43%</b>
有価証券売却損益	1,038	1,278	+ 239	
投信解約損益	419	90	△ 329	
金融派生商品損益	381	△ 547	△ 928	
為替差損益(除くヘッジコスト)	△ 23	265	+ 289	
有価証券評価損	△ 52	△ 15	+ 37	
<b>臨時損益</b>	<b>△ 467</b>	<b>△ 226</b>	<b>+ 240</b>	<b>-</b>
新規追加責任準備金繰入額	△ 520	△ 455	+ 65	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	240	+ 240	
再保険関連収支	49	-	△ 49	
<b>経常利益(損失)</b>	<b>2,920</b>	<b>3,069</b>	<b>+ 149</b>	<b>+ 5%</b>
<b>特別損益</b>	<b>△ 246</b>	<b>△ 102</b>	<b>+ 143</b>	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 127	△ 90	+ 37	
契約者配当準備金繰入額	△ 661	△ 638	+ 23	
法人税等合計	△ 568	△ 645	△ 76	
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>1,444</b>	<b>1,683</b>	<b>+ 239</b>	<b>+ 17%</b>
(参考)基礎利益における再保険取引の影響額 <sup>(1)</sup>	約+175	約+170	約△5	

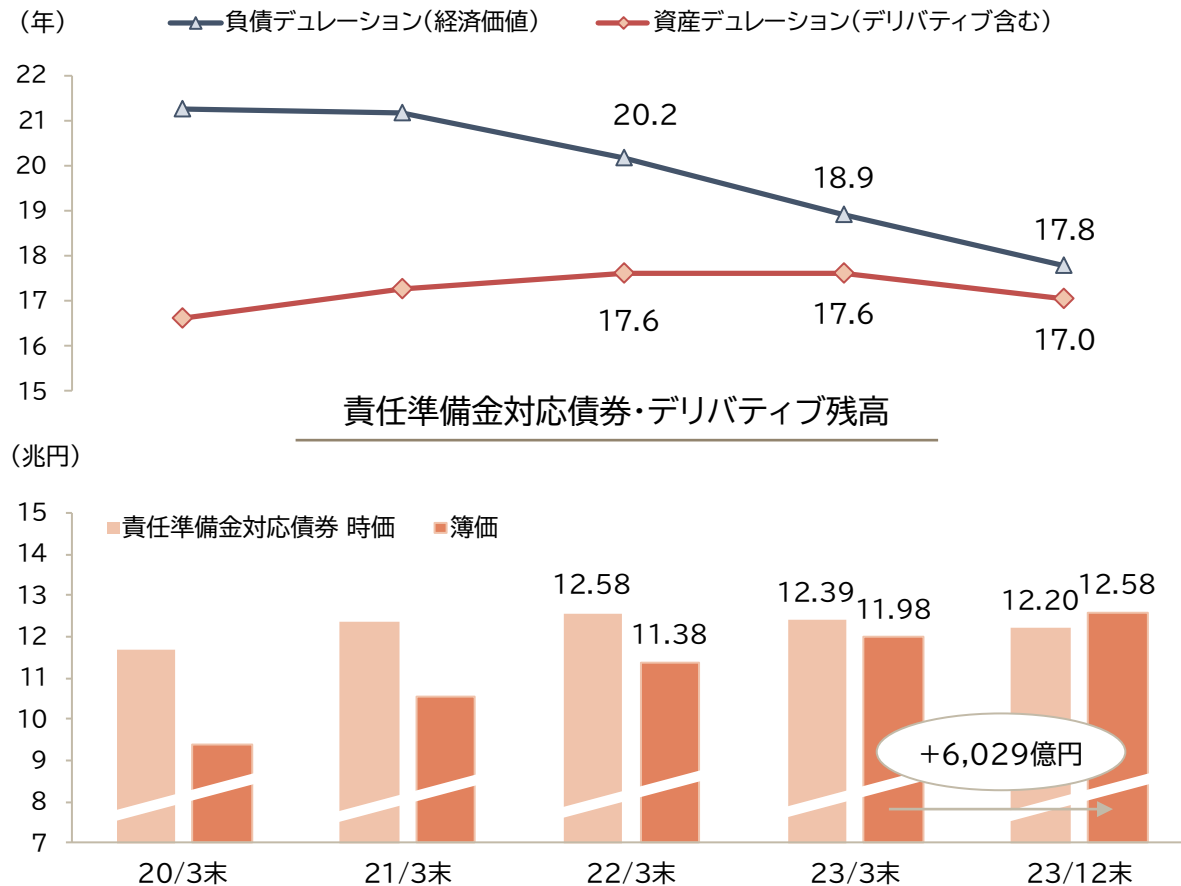
(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	1,444	1,683	+239	+17%



(1) 再保険取引の影響額:19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)



デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況<sup>(1)</sup>



金利スワップ  
(保険負債へのヘッジ会計適用分)

7,000億円

7,000億円

7,000億円

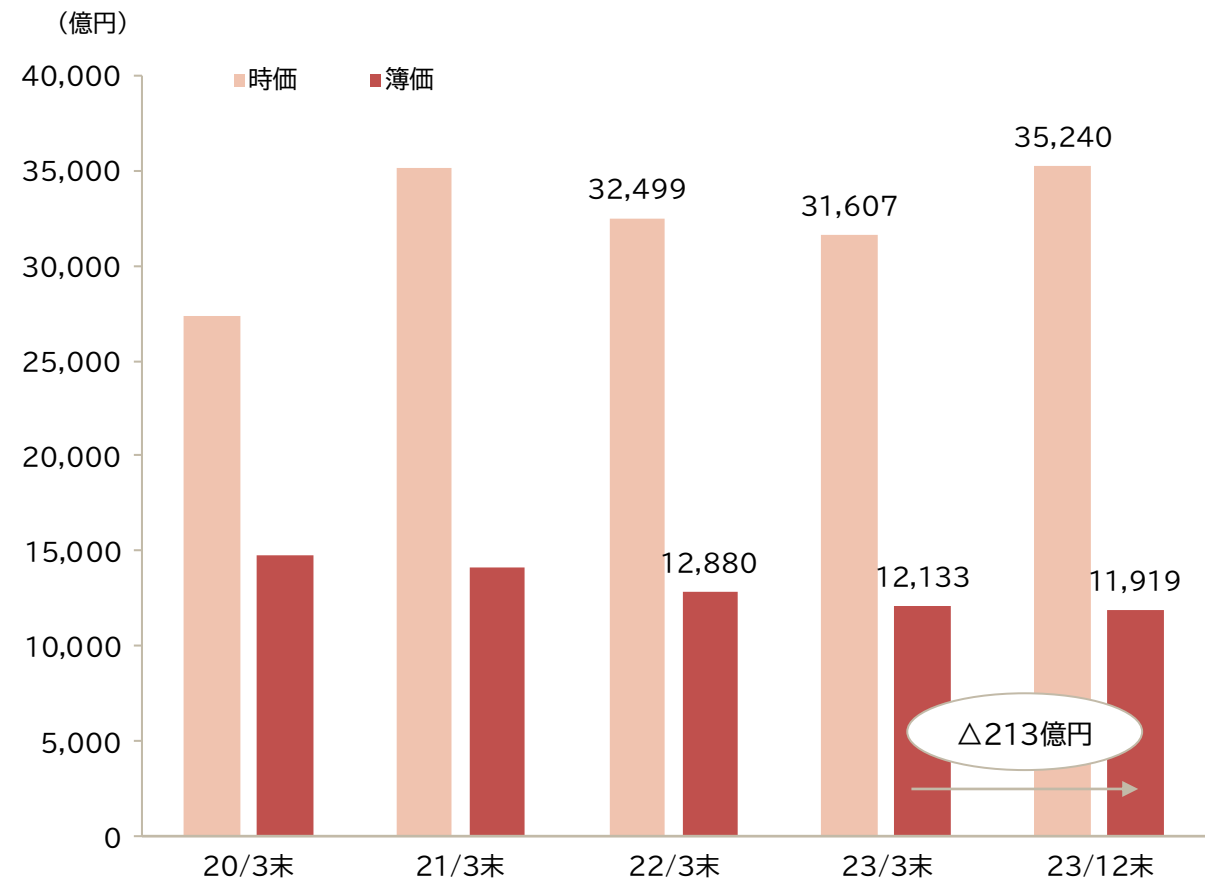
金利スワップ  
(固定受/変動払)

-

-

-

国内株式の簿価・時価<sup>(2)</sup>



国内株式リスク削減ポジション  
(デリバティブ等のポジション残高)

6,471億円

6,726億円

7,244億円

[参考]外国株式リスク削減ポジション

599億円

399億円

698億円

(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高  
責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指す

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 23/12末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

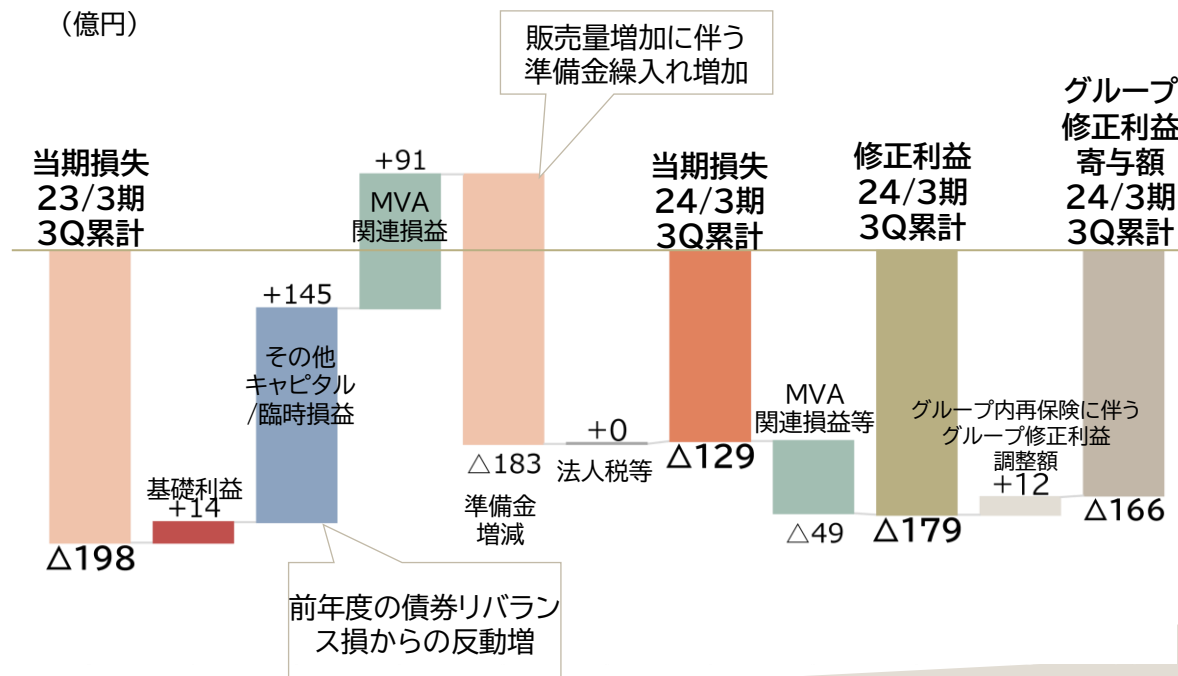
- ▶ 基礎利益は、販売増加に伴う標準責任準備金繰入れや販売手数料の増加に伴う保険関係損益の減少等が影響し、△137億円(前年同期は△152億円)
- ▶ 当期純利益は、前年度の債券リバランス損からの反動増や販売量増加に伴う危険準備金の繰入れ増加等の影響により、△129億円(前年同期は△198億円)。MVA関連損益等を除いた修正利益は、△179億円(前年同期は△157億円)

単体業績

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	19,663	26,009	+ 6,346	+ 32%
<b>基礎利益</b>	<b>△ 152</b>	<b>△ 137</b>	<b>+ 14</b>	<b>-</b>
順ざや	297	294	△ 3	
保険関係損益等	△ 449	△ 432	+ 17	
<b>キャピタル損益</b>	<b>△ 279</b>	<b>221</b>	<b>+ 500</b>	
MVA関連損益	△ 50	41	+ 91	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)等	△ 228	180	+ 409	
<b>臨時損益</b>	<b>205</b>	<b>△ 237</b>	<b>△ 442</b>	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 58	△ 237	△ 178	
MVA関連損益(再保険関連)	-	-	-	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	263	0	△ 263	
<b>経常利益(損失)</b>	<b>△ 226</b>	<b>△ 153</b>	<b>+ 72</b>	<b>-</b>
<b>特別損益</b>	<b>△ 40</b>	<b>△ 45</b>	<b>△ 5</b>	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 40	△ 45	△ 5	
<b>法人税等合計</b>	<b>67</b>	<b>68</b>	<b>+ 0</b>	
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>△ 198</b>	<b>△ 129</b>	<b>+ 68</b>	<b>-</b>
基礎利益	△ 152	△ 137	+ 14	
その他キャピタル・その他臨時損益等	34	180	+ 145	
MVA関連損益	△ 50	41	+ 91	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 30	△ 213	△ 182	
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	-	12	+ 12	

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	△157	△179	△21	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



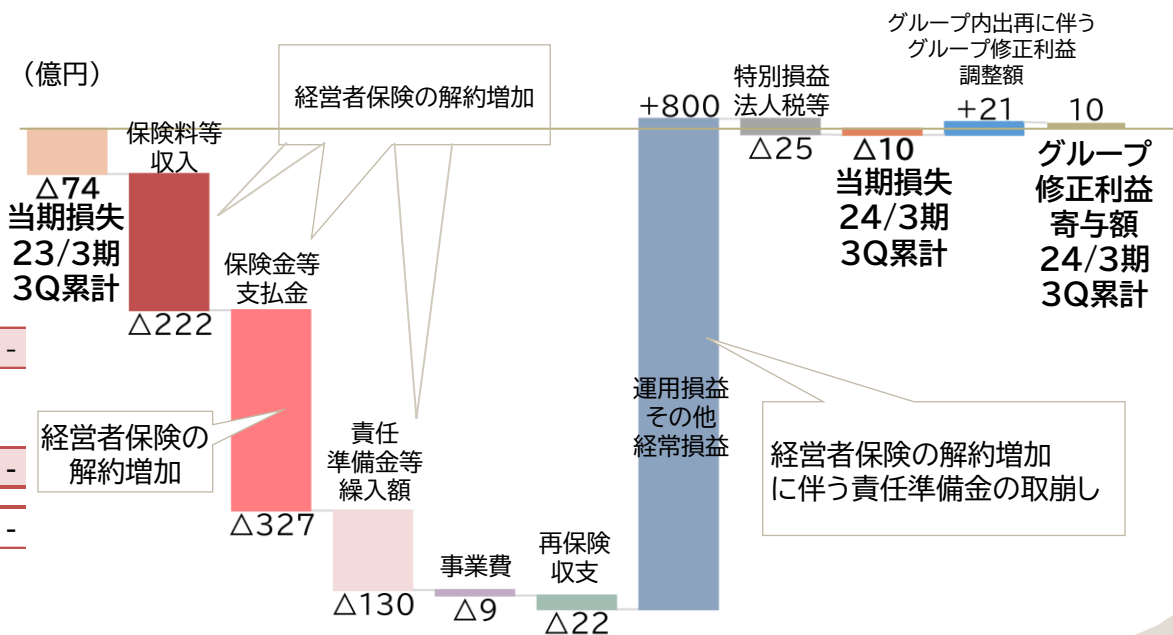
- ▶ 保険料等収入は、足元ではがん保険の販売が好調であるものの、経営者保険の解約等により、前年同期比△23%
- ▶ 当期純利益は、経営者保険の解約増加等に伴い保険金等支払金が増加した一方、責任準備金戻入額の増加によるその他経常収益の増加等により、△10億円（前年同期は△74億円）

単体業績

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	953	731	△ 222	△ 23%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 749	△ 1,076	△ 327	
保険金・年金・給付金	△ 167	△ 105	+ 62	
解約返戻金・その他返戻金	△ 582	△ 971	△ 389	
責任準備金等繰入額	△ 62	△ 192	△ 130	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 0	△ 2	△ 2	
事業費	△ 247	△ 256	△ 9	
再保険収支	22	0	△ 22	
資産運用損益・その他経常損益	△ 16	784	+ 800	
資産運用損益	3	1	△ 1	
その他経常損益	△ 20	782	+ 802	
経常利益(損失)	△ 99	△ 10	+ 89	-
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	25	0	△ 25	
当期純利益(損失)	△ 74	△ 10	+ 64	-
基礎利益	△ 99	△ 4	+ 94	-
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	-	21	+ 21	

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	△74	△10	+64	-

当期純利益(損失)の変動要因



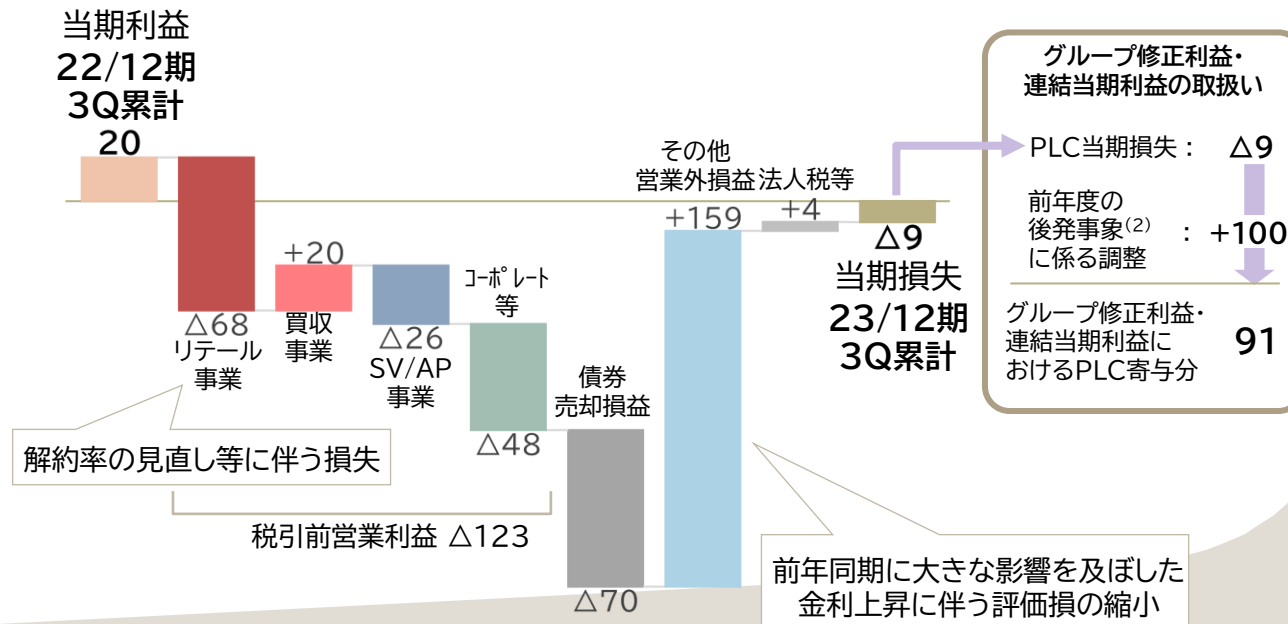
- ▶ 営業利益は、解約率・死亡率等の定例見直しがマイナス寄与したことや、コーポレート等における支払利息の増加等により、前年同期比△26%の343百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、金利変動に伴う評価損が前年同期比で縮小したものの、解約率・死亡率等の定例見直しがマイナス寄与したことや、債券売却損の発生(今年度上期に破綻した銀行の債券売却等に伴うもの)を主因に、前年同期比△29百万米ドルの△9百万米ドル
- ▶ グループ連結上、23年3月に破綻した銀行等の債券に係る損失△100百万米ドルについては前年度に後発事象として計上済みであり、当期には計上しない

単体業績

(百万米ドル)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,684	4,717	+ 33	+ 1%
<b>税引前営業利益<sup>(1)</sup></b>	<b>467</b>	<b>343</b>	<b>△ 123</b>	<b>△ 26%</b>
リテール保険&年金	136	68	△ 68	△ 50%
買収	234	255	+ 20	+ 9%
ステーブルバリュー(SV)	139	112	△ 26	△ 19%
アセットプロテクション(AP)	38	37	△ 0	△ 1%
コーポレート等	△ 82	△ 130	△ 48	-
<b>営業外損益(償却調整後)</b>	<b>△ 441</b>	<b>△ 352</b>	<b>+ 89</b>	
債券売却損益	2	△ 67	△ 70	
債券評価損・株式評価損益等	△ 231	△ 213	+ 17	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	△ 1	△ 52	△ 50	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 241	△ 29	+ 211	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	279	△ 62	△ 342	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	△ 101	△ 3	+ 97	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 148	77	+ 226	
法人税等	△ 5	△ 0	+ 4	
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>20</b>	<b>△ 9</b>	<b>△ 29</b>	<b>-</b>
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	29	△ 13	△ 42	-
決算為替レート(対円)	144.81	149.58	+ 4.77	+ 3%

(億円)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	29	△ 13	△ 42	-

当期純利益(損失)の変動要因 (百万米ドル)



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

(2) 連結上、前年度に後発事象として計上済みの損失額を調整(PLC単体では同損失額が23/12期 1Q利益に反映されている)。23年3月に破綻したシリコンバレーバンク・シグネチャーバンクの債券、及び無価値となったクレディ・スイスのAT1債に関するもの



- ▶ 基礎的収益力は、既存の保障事業および前期に買収したTLIS(旧Westpac Life)の事業が堅調に推移し、前年同期<sup>(1)</sup>比+33%の343百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、基礎的収益力は増益となったものの、金利変動等に伴う資産・保険負債の変動に起因する益が前年同期を下回ったこと等により、前年同期<sup>(1)</sup>比△14%の355百万豪ドル
- ▶ なお、TALは当年度よりIFRS17を適用しており、主に繰延新契約費の償却がなくなること等によって基礎的収益力が一定程度増加

単体業績

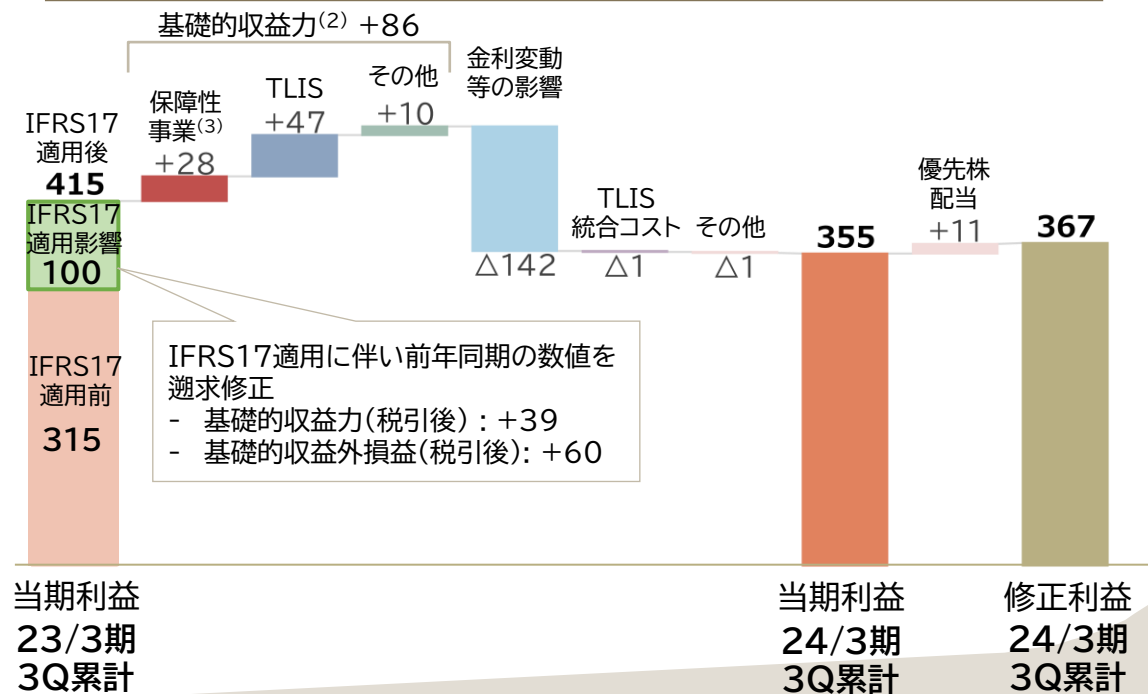
(百万豪ドル)	23/3期 3Q累計 <sup>(1)</sup>	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	5,713	6,002	+ 289	+ 5%
<b>基礎的収益力(税引後)<sup>(2)</sup></b>	<b>257</b>	<b>343</b>	<b>+ 86</b>	<b>+ 33%</b>
保障事業 <sup>(3)</sup>	229	258	+ 28	+ 12%
TLIS(旧Westpac Life)	47	94	+ 47	+ 100%
その他	△ 19	△ 9	+ 10	-
<b>基礎的収益外損益(税引後)</b>	<b>157</b>	<b>11</b>	<b>△ 146</b>	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	228	85	△ 142	
TLIS統合コスト	△ 30	△ 32	△ 1	
優先株配当等	△ 9	△ 15	△ 5	
その他	△ 30	△ 26	+ 3	
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>415</b>	<b>355</b>	<b>△ 60</b>	<b>△ 14%</b>
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	371	344	△ 27	△ 7%
決算為替レート(対円)	89.57	96.94	+7.37	+ 8%

(参考: IFRS17を遡及適用しない場合の前年同期利益)

	23/3期3Q累計
基礎的収益力(税後) <sup>(2)</sup>	218百万豪ドル
当期純利益(損失)	315百万豪ドル
修正利益	291億円

(億円)	23/3期 3Q累計 <sup>(1)</sup>	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	380	355	△24	△6%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異(百万豪ドル)



(1) 24/3期1QからのIFRS17適用に伴い、前年同期(23/3期3Q累計)の数値についてもIFRS17ベースに遡及修正

(2) 従来は、豪TALよりグループ会社(DL)に再保険(出再)を行ったことに伴う損益を基礎的収益力(税引後)に含め、基礎的収益外損益(税引後)から控除する取扱いをしていたが、23/3期4Qより当該損益は基礎的収益力(税引後)に含めない取扱いに変更し、過年度数値も合わせて修正

(3) 前期まで個人保険・団体保険として開示していた基礎的収益力について、24/3期1Qより保障事業として統合し、過年度数値も合わせて修正

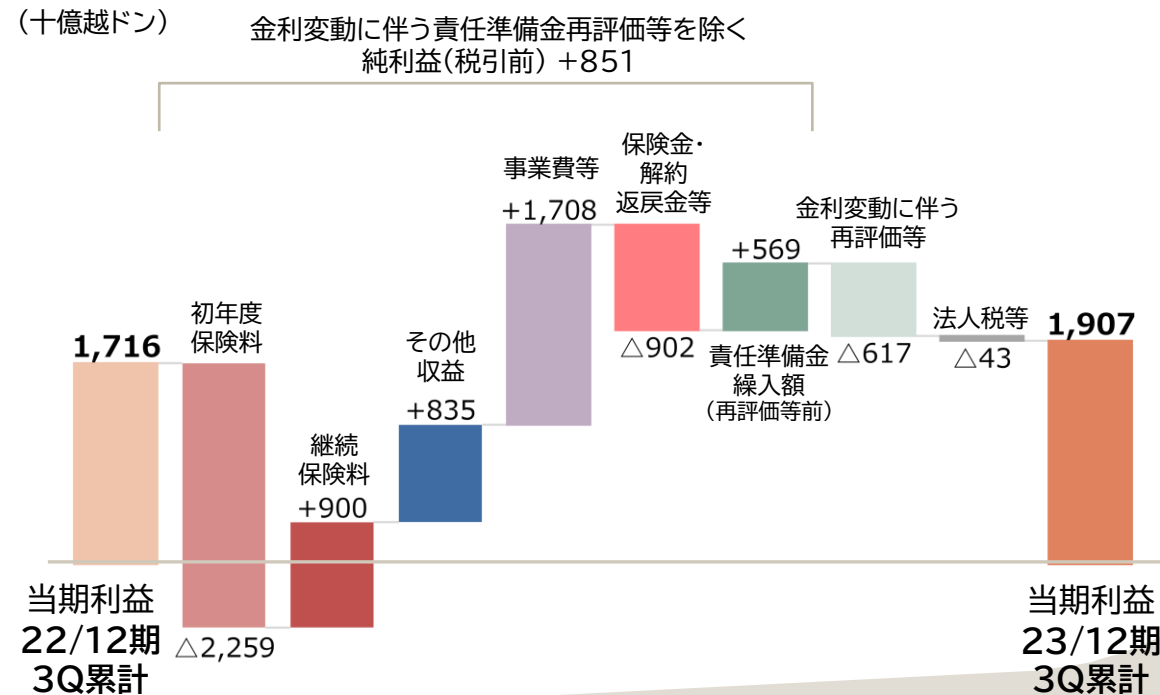
- ▶ 業界全体の銀行窓販チャネルのモメンタム低下によって初年度保険料が前年同期比で減少し、保険料等収入は前年同期比△9%の14,335十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、新契約業績の低下に伴い事業費や責任準備金繰入が減少し、前年同期比+11%の1,907十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	15,694	14,335	△ 1,359	△ 9%
初年度保険料	5,171	2,912	△ 2,259	△ 44%
継続保険料 <sup>(1)</sup>	10,522	11,422	+ 900	+ 9%
その他収益	1,039	1,874	+ 835	
資産運用収益等	1,402	2,321	+ 919	
再保険収支	△ 362	△ 447	△ 84	
事業費等	△ 7,286	△ 5,577	+ 1,708	
初年度販売手数料・経費等	△ 5,864	△ 3,962	+ 1,901	
継続手数料・事務管理費	△ 1,421	△ 1,615	△ 193	
保険金・解約返戻金等	△ 2,356	△ 3,258	△ 902	
責任準備金繰入額等	△ 4,944	△ 4,992	△ 47	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 5,153	△ 4,584	+ 569	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	209	△ 407	△ 617	
法人税等	△ 430	△ 473	△ 43	
<b>当期純利益(損失)</b>	<b>1,716</b>	<b>1,907</b>	<b>+ 191</b>	<b>+ 11%</b>
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	104	116	+ 12	+ 12%
決算為替レート(対円)	0.0061	0.0061	+ 0.0000	+ 0%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,548	2,233	+ 684	+ 44%

(億円)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	104	116	+12	+12%

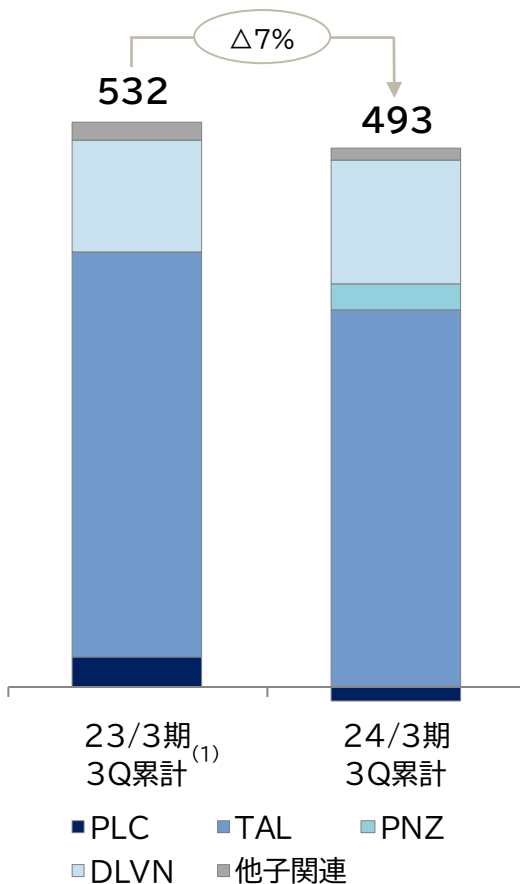
当期純利益(損失)の変動要因



(1) 契約より2年目以降の保険料収入

- ▶ 海外保険事業の修正利益は、PLCにおいて解約率・死亡率等の定例見直しや今年度上期の米銀破綻に伴う損失がマイナス寄与したことや、TALにおいて金利変動等に伴う資産・保険負債の変動に起因する益が前年同期を下回ったこと等により、前年同期比△7%の493億円
- ▶ アセットマネジメント事業の修正利益は、主にAMOneの保有株式減損処理およびVTXの事業開始により、前年同期比△24%の25億円

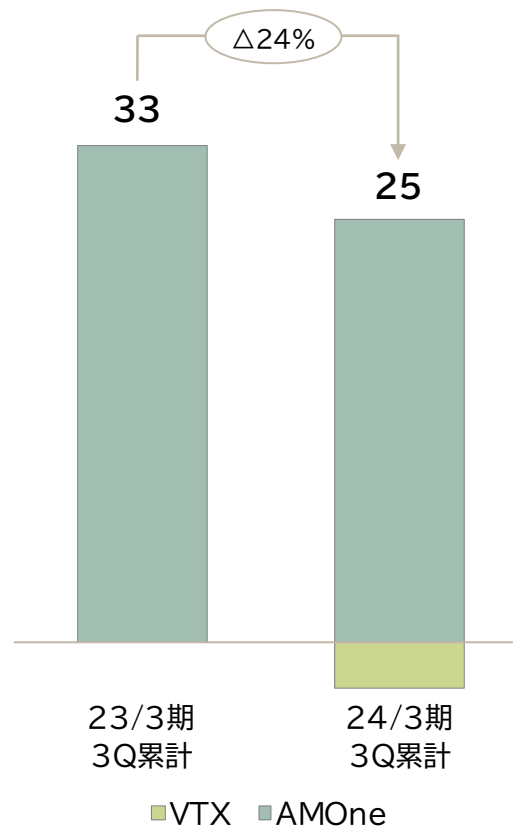
海外保険事業 修正利益合計



(億円)	23/3期 3Q累計 <sup>(1)</sup>	24/3期 3Q累計	増減(%)
PLC <sup>(2)</sup>	29	△ 13	-
TAL	380	355	△ 6%
PNZ	-	23	-
DLVN <sup>(2)</sup>	104	116	+ 12%
他子関連 <sup>(2)</sup>	18	11	△ 36%
	<b>532</b>	<b>493</b>	<b>△ 7%</b>

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減(%)
VTX	-	△ 3	-
AMOne	33	28	△ 13%
	<b>33</b>	<b>25</b>	<b>△ 24%</b>

[参考] 預り運用資産(兆円)

	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減(%)
VTX	-	1	-
AMOne	60	64	+ 7%

※AMOneは当社の持分法適用関連会社

(1) 24/3期1QからTAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期3Q累計)の数値についてもIFRS17ベースに遡及修正しています(海外保険事業全体の数値についても遡及修正を反映しています)

(2) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です



# グループEEV (European Embedded Value)

▶ グループEEVは、国内金利上昇や国内株価上昇等によりDLのEEVが増加したこと等を背景に、前期末比 約+8%(+5,900億円)の約7兆9,400億円

## 第一生命グループ(億円)

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	73,490	約79,400	約+5,900
対象事業(covered business)のEEV <sup>(1)</sup>	75,121	約79,800	約+4,700
修正純資産	47,509	約42,300	約△5,200
保有契約価値	27,612	約37,400	約+9,800
対象事業以外の純資産等に係る調整 <sup>(2)</sup>	△ 1,631	約△300	約+1,300

[参考] 現地通貨建

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
DL	51,602	約54,700	約+3,100
修正純資産	36,348	約32,500	約△3,800
保有契約価値	15,254	約22,200	約+6,900

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
DFL	5,637	約5,900	約+300
修正純資産	1,098	約1,600	約+500
保有契約価値	4,538	約4,300	約△200

(億円)	22/12末	23/9末 (概算値)	増減
米PLC	7,611	約7,600	約△0
修正純資産	4,854	約5,200	約+300
保有契約価値	2,756	約2,400	約△300

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
豪TAL	5,741	約6,500	約+800
修正純資産	4,030	約1,400	約△2,600
保有契約価値	1,711	約5,100	約+3,400

22/12末	23/9末 (概算値)	増減
5,735	約5,100	約△700
3,658	約3,500	約△200
2,077	約1,600	約△500

23/3末	23/12末 (概算値)	増減
6,401	約6,800	約+400
4,493	約1,500	約△3,000
1,907	約5,300	約+3,400

(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

(1) 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています  
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、PNZ(ニュージーランド)、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業とした。DLReを活用したグループ内再保険は元受会社に含めている

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(23/3末:13,111億円、23/12末:約 13,400億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社7社に対する出資に係る調整(23/3末:△15,802億円、23/12末:約 △15,200億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれる

# 資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings



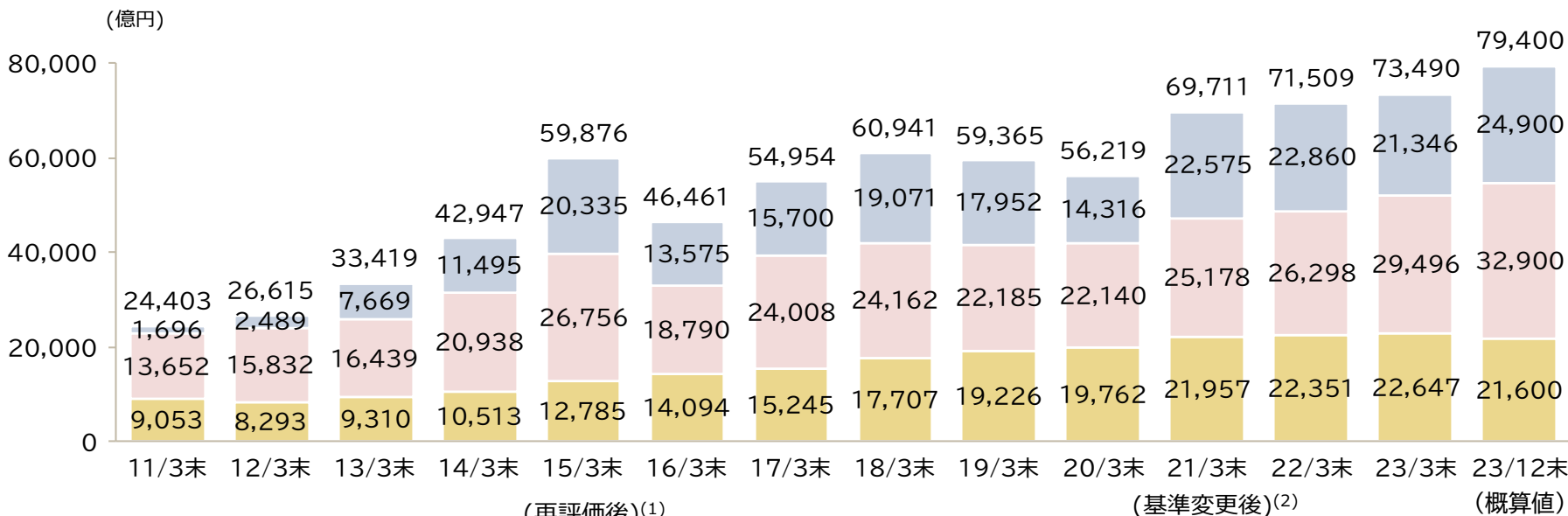
## 第一生命グループのEEV(億円)

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	73,490	約79,400	約+5,900
対象事業(covered business)のEEV	75,121	約79,800	約+4,700
修正純資産	47,509	約42,300	約△5,200
保有契約価値	27,612	約37,400	約+9,800
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,631	約△300	約+1,300

## 資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	23/3末	23/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	73,490	約79,400	約+5,900
確定利付資産以外の含み損益等 <sup>(3)</sup>	21,346	約24,900	約+3,600
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 <sup>(4)</sup>	29,496	約32,900	約+3,400
純資産等+負債中の内部留保 <sup>(5)</sup>	22,647	約21,600	約△1,100

## 資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:  
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等<sup>(3)</sup>

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等<sup>(4)</sup>

純資産等+負債中の内部留保<sup>(5)</sup>  
:実現利益の累積額に相当

(1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施

(3) DFLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にある

(5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上





## 参考データ

# [第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

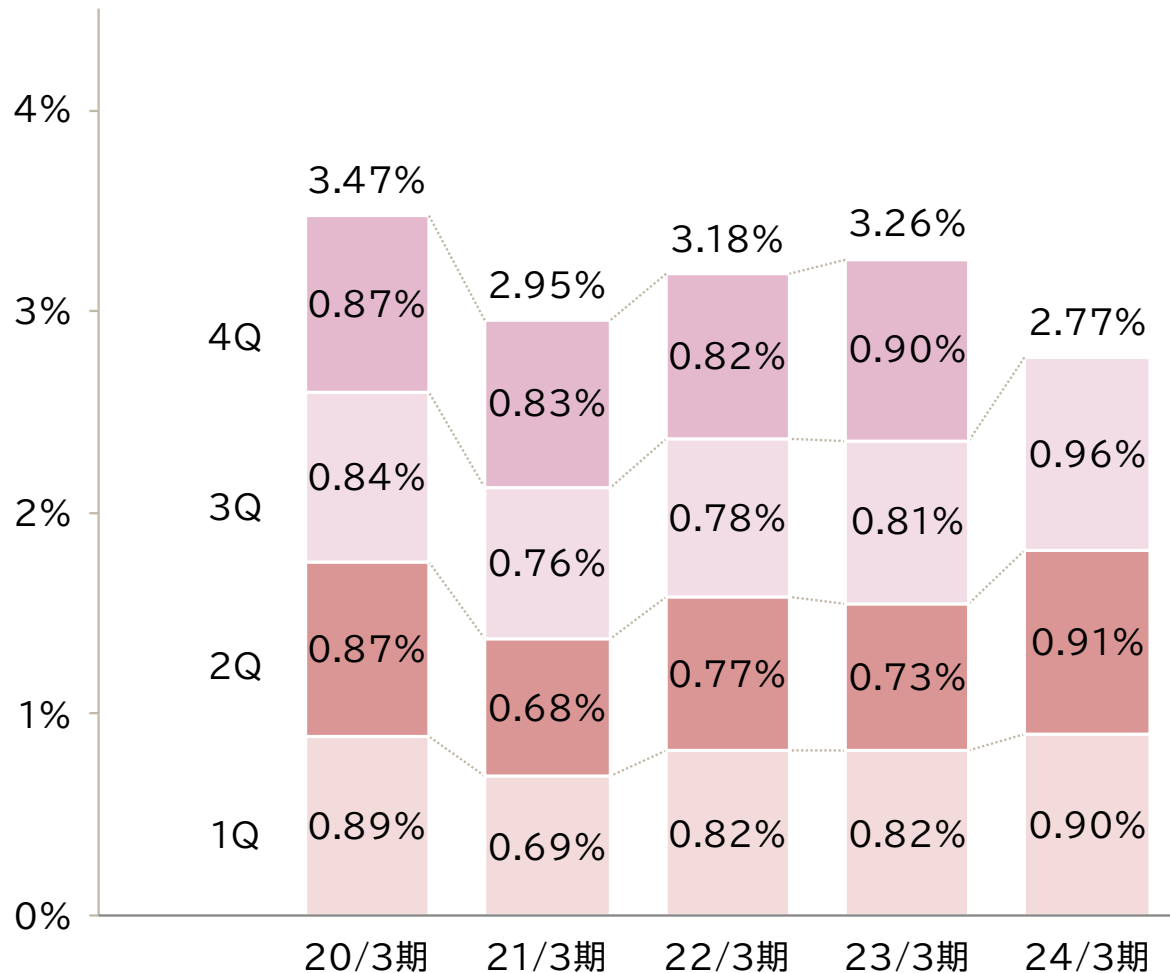
その他事業



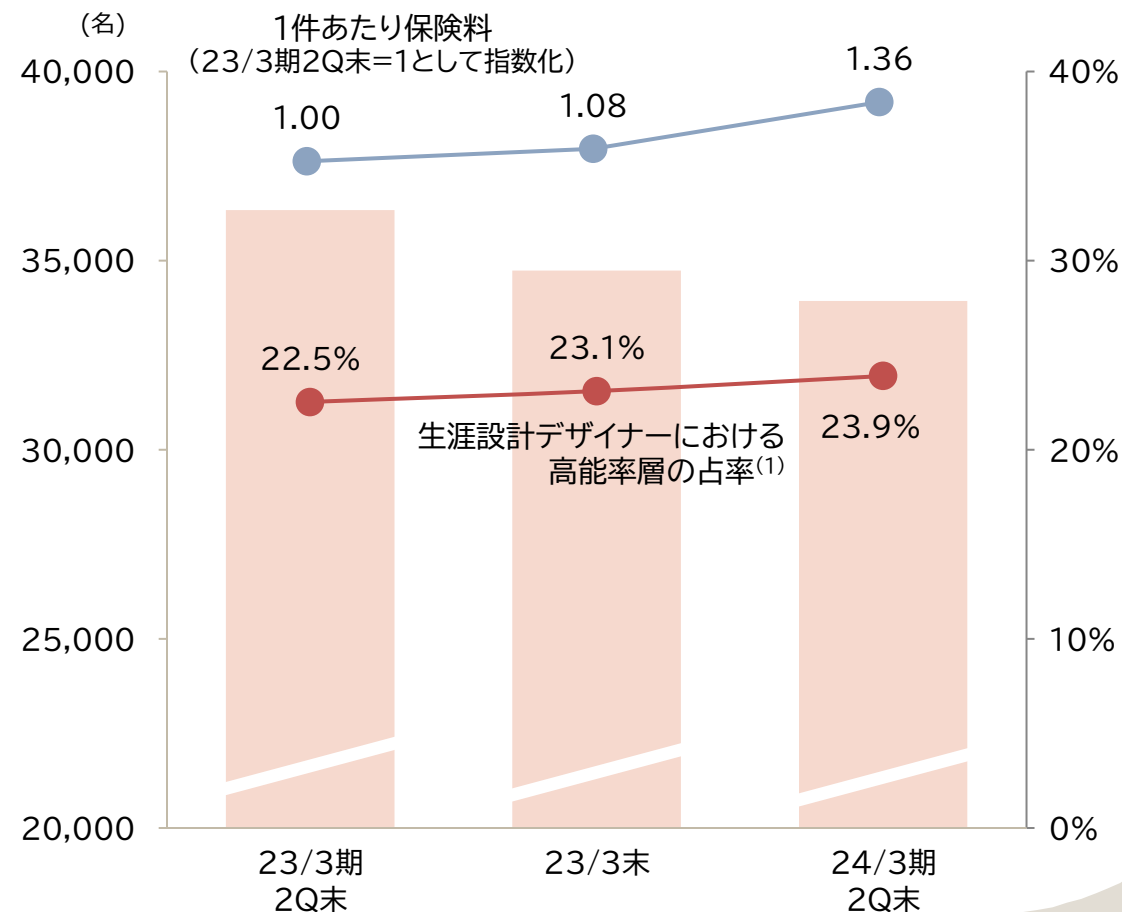
## 解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



## 生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合

# [第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



## 利息・配当金等収入の内訳

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	5,953	5,203	△ 749	△ 13%
公社債	2,029	1,981	△ 48	△ 2%
株式	429	418	△ 11	△ 3%
外国証券	2,398	1,603	△ 795	△ 33%
その他の証券	210	202	△ 8	△ 4%
貸付金	304	398	+ 93	+ 31%
不動産	515	513	△ 1	△ 0%

[参考] 23/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り <sup>(1)</sup>
一般勘定計	8,048	328,138	2.45%
公社債	2,669	171,875	1.55%
株式	752	12,975	5.80%
外国証券	3,179	73,621	4.32%
その他の証券	253	7,613	3.33%
貸付金	417	26,210	1.59%
不動産 <sup>(2)</sup>	689	8,955	7.70%

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算

(2) 投資用不動産

## 有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	3,999	3,067	△ 932	△ 23%
公社債	578	325	△ 253	△ 44%
株式	1,249	1,528	+ 278	+ 22%
外国証券	2,117	1,193	△ 924	△ 44%
その他	52	19	△ 33	△ 63%
有価証券売却損	2,960	1,788	△ 1,172	△ 40%
公社債	177	269	+ 92	+ 52%
株式	37	25	△ 11	△ 31%
外国証券	2,646	1,397	△ 1,249	△ 47%
その他	99	95	△ 3	△ 3%
有価証券売却損益	1,038	1,278	+ 239	+ 23%
有価証券評価損	52	15	△ 37	△ 71%
公社債	-	-	-	-
株式	33	11	△ 21	△ 65%
外国証券	19	3	△ 15	△ 80%
その他	0	0	+0	+ 15%

# 【第一生命】資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

グループ連結

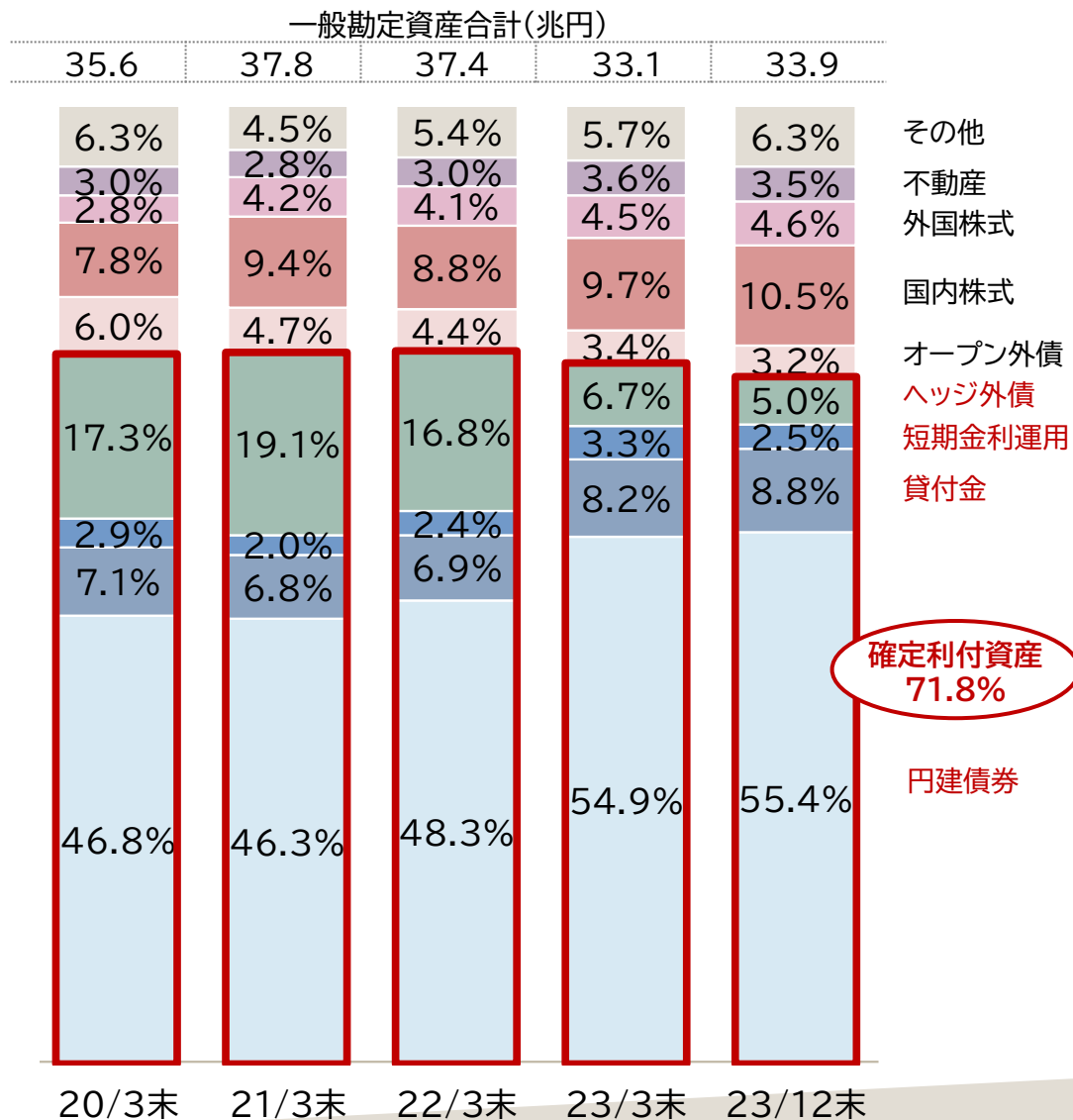
海外保険事業

国内保険事業

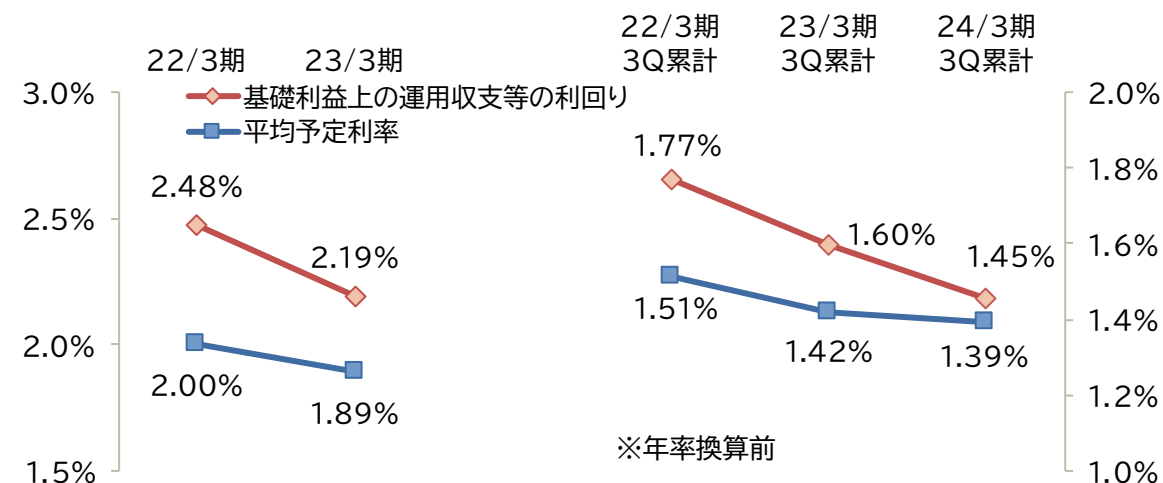
その他事業



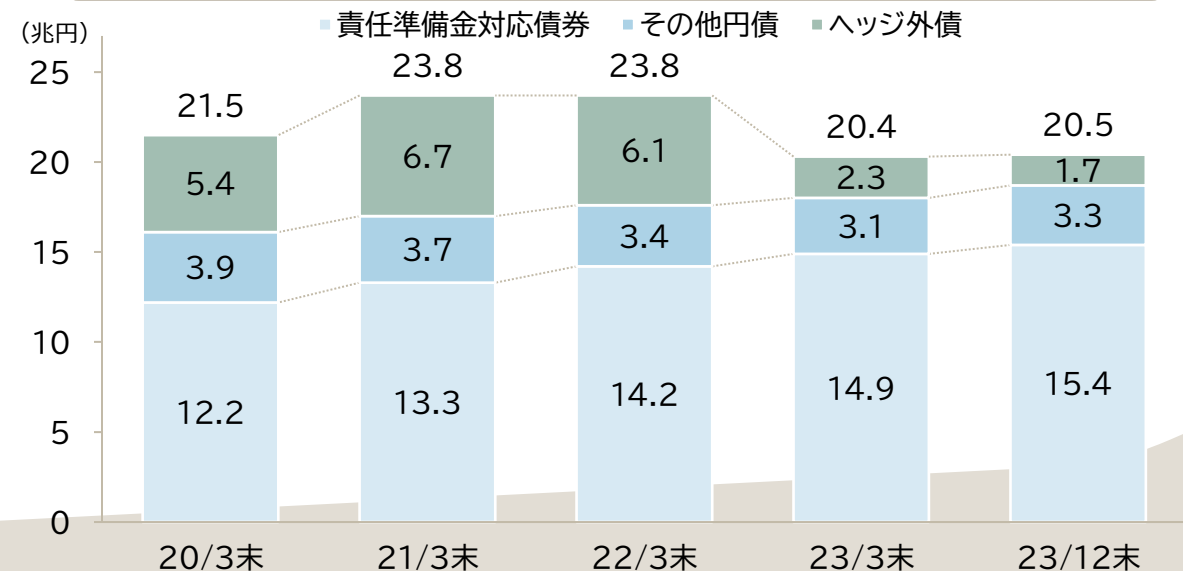
## 運用資産の構成(一般勘定)<sup>(1)</sup>



## 資産運用利回りと平均予定利率



## 確定利付資産における債券積増し状況<sup>(2)</sup>



# 【第一生命】資産運用の状況③ – 円建・外貨建債券の状況

グループ連結

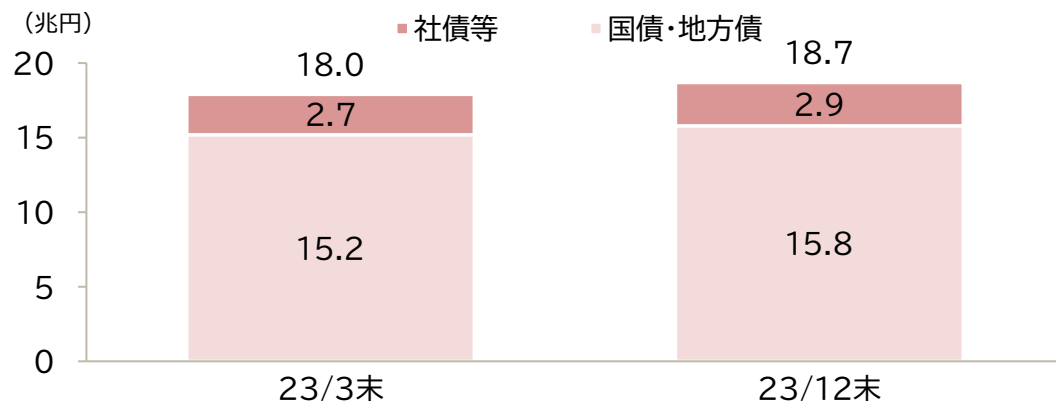
海外保険事業

国内保険事業

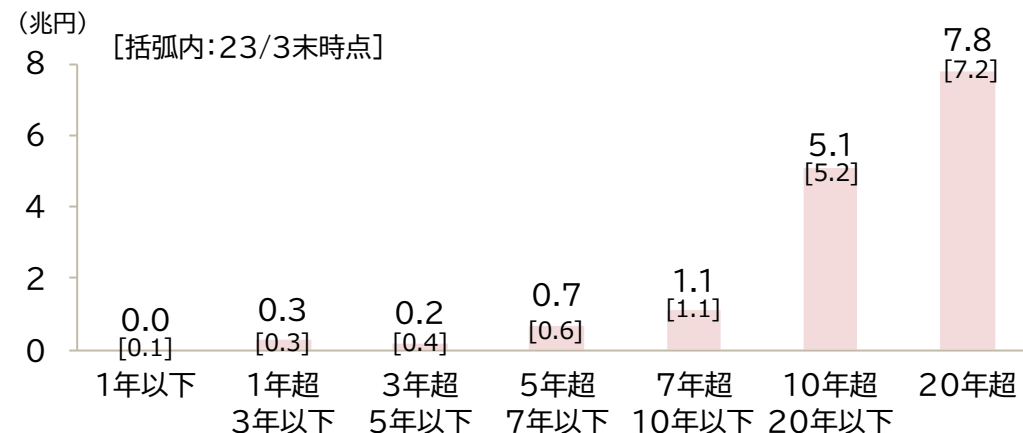
その他事業



円建債券の内訳<sup>(1)</sup>

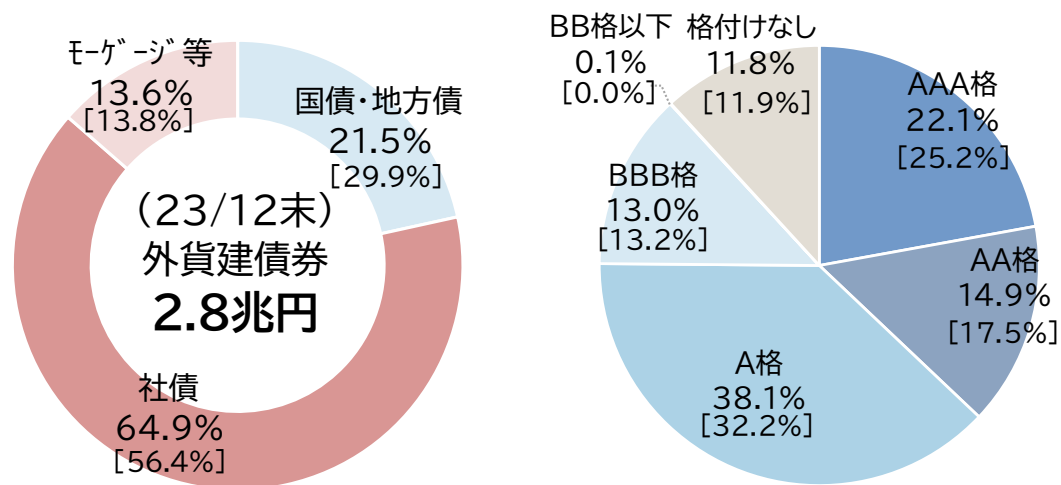


国債の残存期間別残高<sup>(2)</sup> (23/12末)

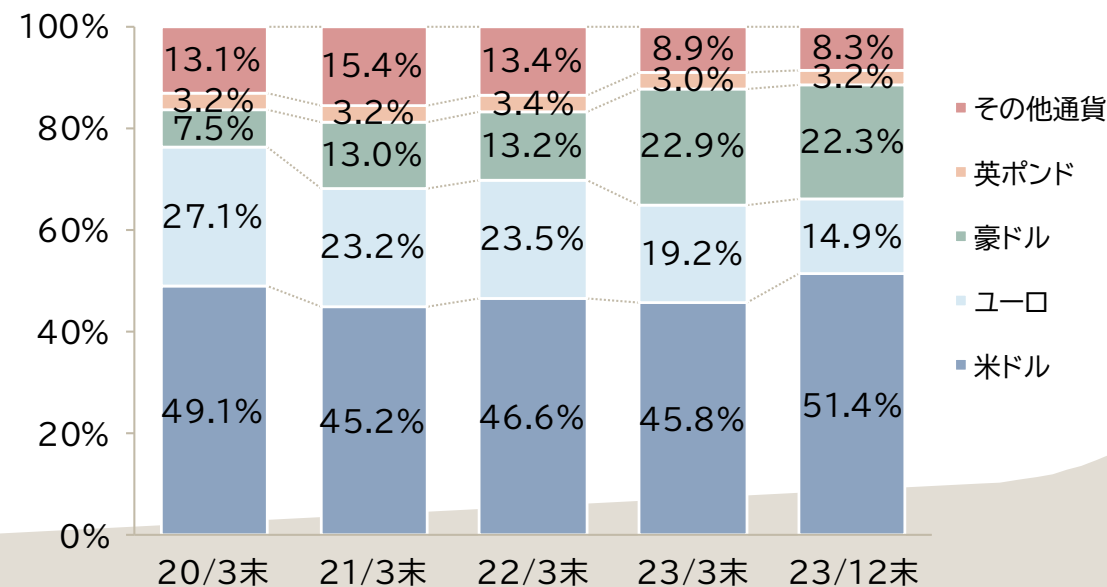


外貨建債券の内訳<sup>(2)(3)</sup> (23/12末)

[括弧内:23/3末時点]



外貨建債券の通貨別構成<sup>(2)</sup>



(1) 簿価ベース

(2) 貸借対照表価額ベース

(3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

# 【第一生命】資産運用の状況④ – 為替ヘッジ付外貨建債券の状況

グループ連結

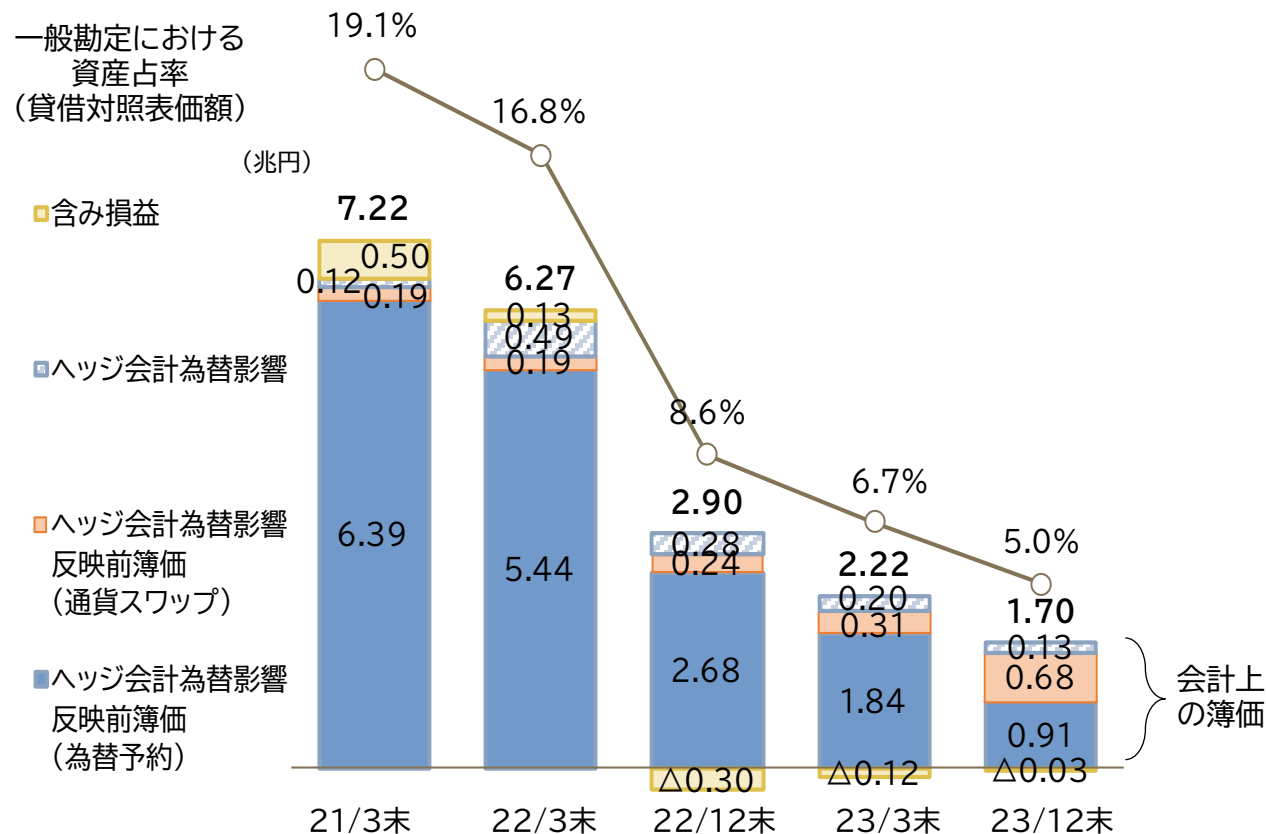
海外保険事業

国内保険事業

その他事業



## 為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)



## 為替ヘッジ付外債 損益状況

	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	(参考) オープン外債 <sup>(1)</sup>
(億円)	為替ヘッジ付 外債	為替ヘッジ付 外債	オープン外債 <sup>(1)</sup>
利息・配当金等収入	1,074	461	358
為替に係るヘッジコスト	△ 509	△ 518	-
有価証券売却損益	△ 2,161	△ 683	96
貸借対照表価額	29,057	17,090	10,910
会計上の簿価	32,091	17,396	10,239
含み損益	△ 3,034	△ 306	670
(参考) 為替ヘッジの影響を反映した簿価	29,236	16,007	

(1) 外国公社債投資信託を含む



# 【第一生命】健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings

## 含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	23/3末	23/12末	前期末比	(%)
<b>有価証券</b>	<b>26,594</b>	<b>22,907</b>	<b>△ 3,686</b>	<b>△ 14%</b>
国内債券	6,626	△ 2,756	△ 9,383	-
外国債券	△ 1,101	177	+ 1,279	-
うち為替ヘッジ付外貨建債券	△ 1,286	△ 306	+ 979	-
国内株式	19,474	23,320	+ 3,846	+ 20%
外国株式	1,489	2,114	+ 625	+ 42%
不動産	5,234	5,553	+ 318	+ 6%
<b>一般勘定資産合計</b>	<b>31,417</b>	<b>27,510</b>	<b>△ 3,907</b>	<b>△ 12%</b>

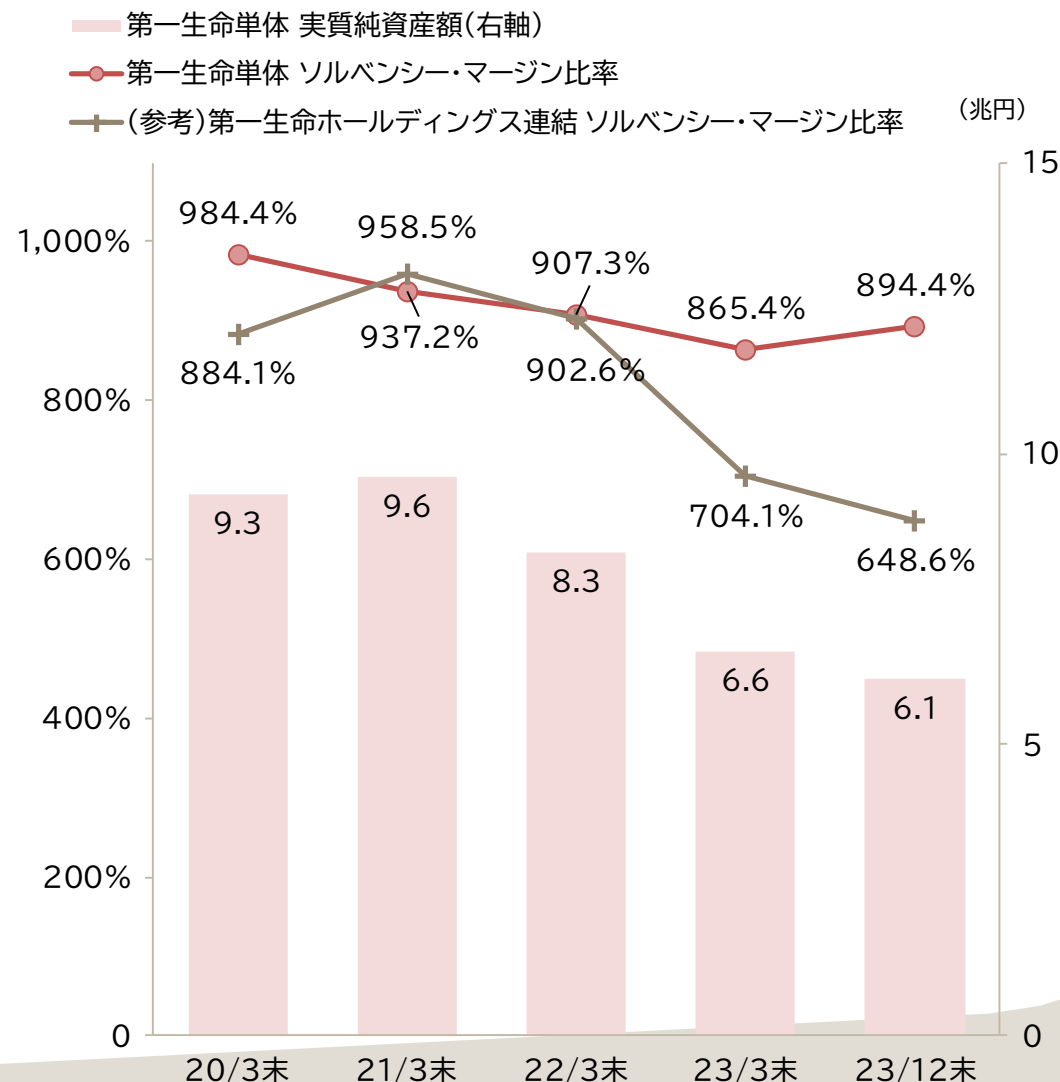
2023年  
12月末時点

### 含み損益の市場感応度<sup>(1)</sup>

### 含み損益ゼロ水準<sup>(2)</sup>

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2023年3月末:2,800億円) ※その他有価証券区分:100億円の増減 (2023年3月末:100億円)	10年国債利回り 0.5%※ (2023年3月末:0.6%) ※その他有価証券区分:1.2% (2023年3月末:1.1%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,000億円の増減 (2023年3月末:1,100億円)	日経平均株価 ¥11,300 (2023年3月末:¥10,700)
外国証券	ドル/円1円の変動で 160億円の増減 (2023年3月末:160億円)	ドル/円 \$1 = ¥125 (2023年3月末:¥119)

## ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

# [第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

グループ連結

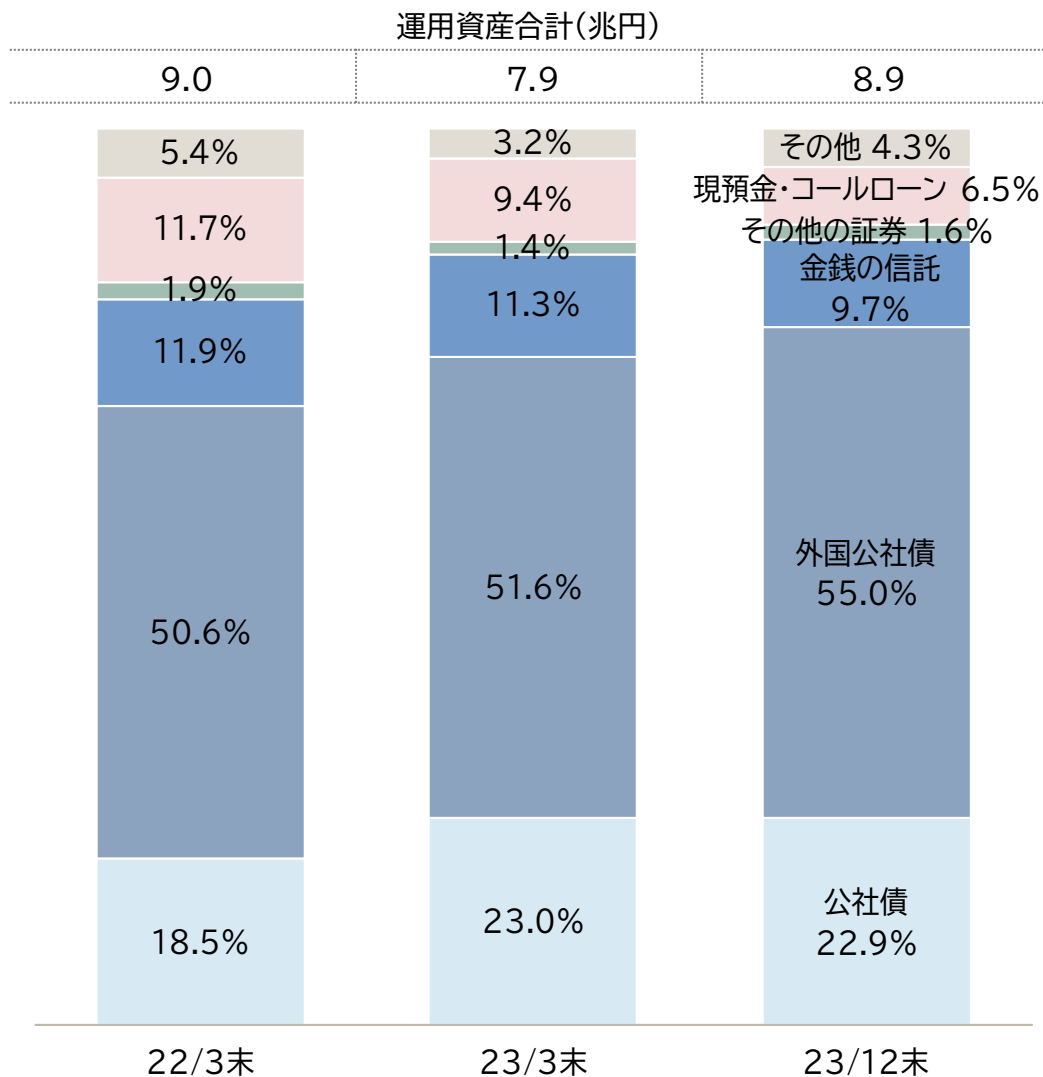
海外保険事業

国内保険事業

その他事業

Dai-ichi Life Holdings

## 運用資産の構成(一般勘定) (1)

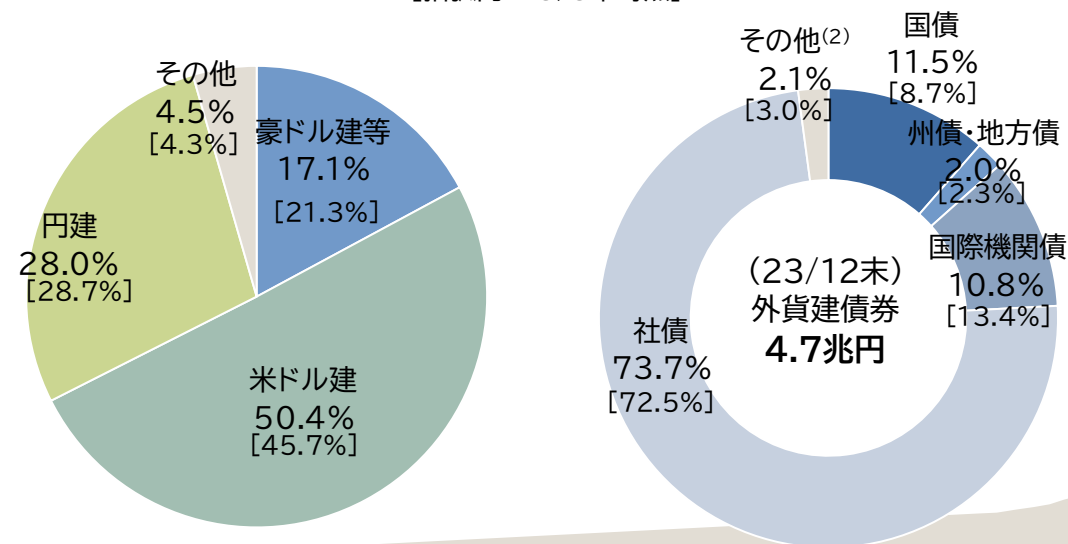


## 保有目的区分別有価証券の状況 (23/12末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	48,625	46,325	△ 2,299
その他有価証券	23,436	22,945	△ 491
公社債	4,962	4,902	△ 59
外国証券	16,484	16,078	△ 406
その他の証券	1,405	1,385	△ 20

## 運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内: 23/3末時点]



(1) 貸借対照表価額ベース  
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含む

# MVA(市場価格調整)関連損益について

グループ連結

海外保険事業

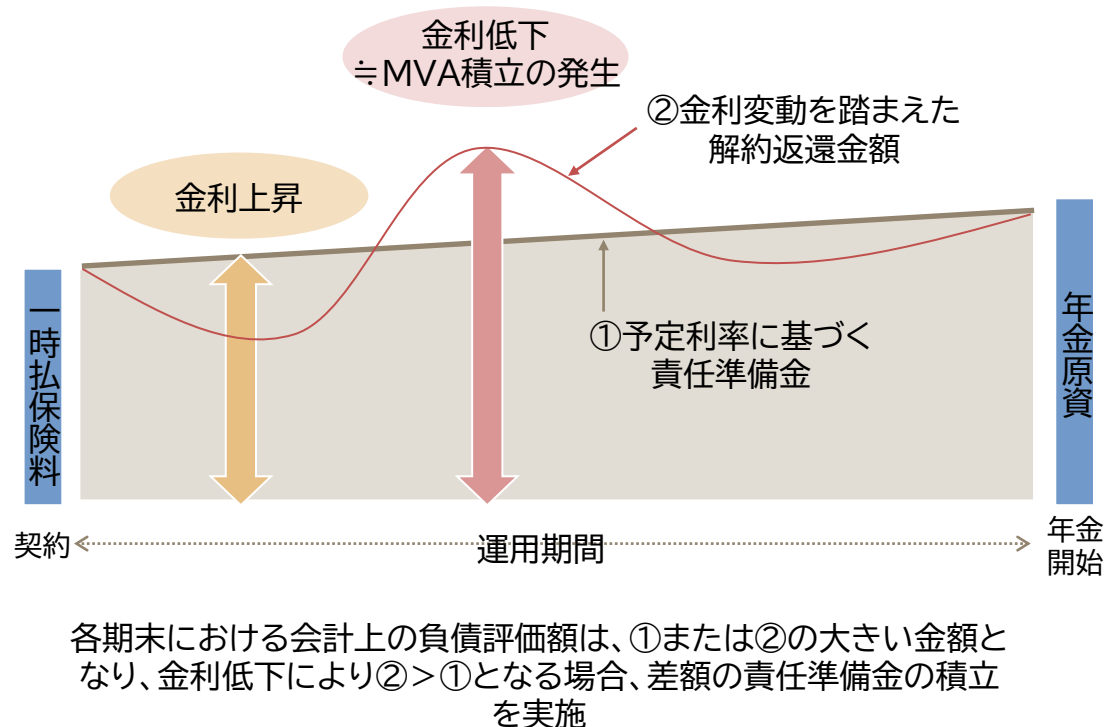
国内保険事業

その他事業

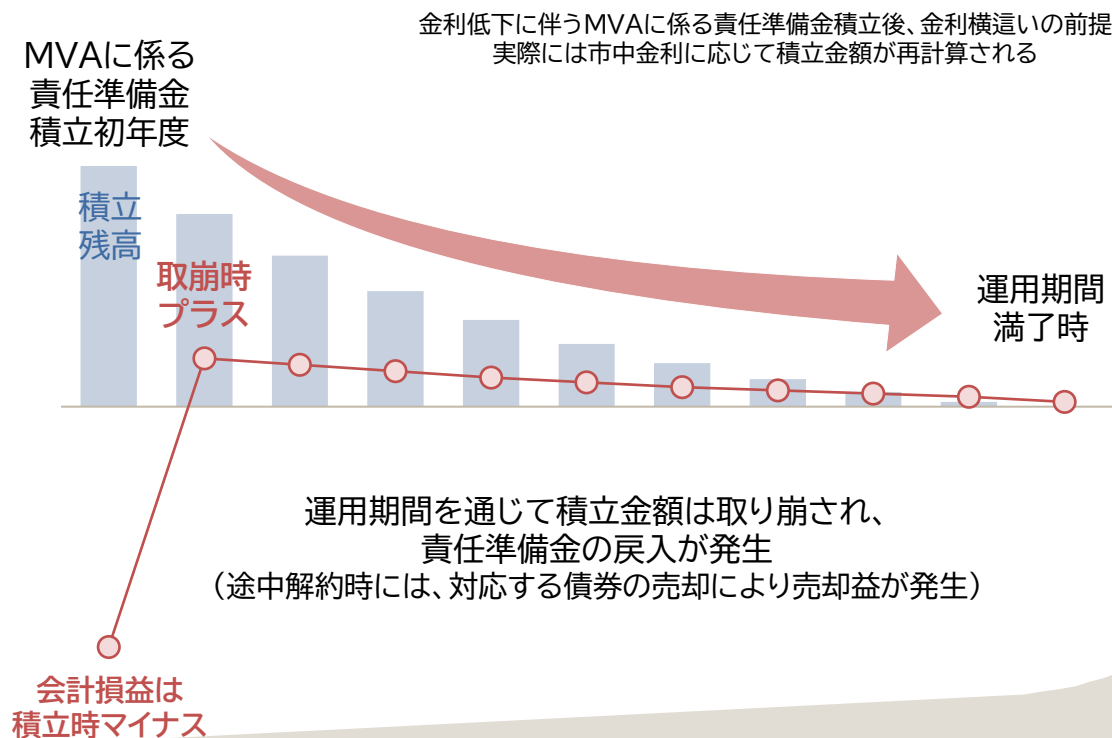
Dai-ichi Life Holdings

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

## MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



## MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



# [米プロテktiv・豪TAL] 営業の状況 - セグメント別営業業績

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life Holdings

## 米プロテktiv 営業業績

(百万米ドル)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
<b>リテール保険&amp;年金事業</b>	<b>2,937</b>	<b>2,426</b>	<b>△ 511</b>	<b>△ 17%</b>
伝統的保険	155	177	+ 22	+ 14%
ユニバーサル保険	77	82	+ 5	+ 6%
BOLI/COLI <sup>(1)</sup>	1,469	546	△ 923	△ 63%
定額年金	721	1,053	+ 332	+ 46%
変額年金	515	568	+ 53	+ 10%
<b>ステーブルバリュー事業</b>	<b>4,047</b>	<b>3,986</b>	<b>△ 61</b>	<b>△ 2%</b>
<b>アセットプロテクション事業</b>	<b>711</b>	<b>766</b>	<b>+ 55</b>	<b>+ 8%</b>

## 豪TAL 営業業績

(百万豪ドル)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
<b>新契約年換算保険料</b>	<b>81</b>	<b>103</b>	<b>+ 21</b>	<b>+ 27%</b>
(TAL) 個人保険	44	54	+ 10	+ 24%
団体保険	35	47	+ 11	+ 32%
TLIS (旧Westpac Life)	1	1	△0	△ 7%
<b>既契約増減</b>	<b>483</b>	<b>287</b>	<b>△ 196</b>	<b>△ 41%</b>
(TAL) 個人保険	191	298	+ 106	+ 56%
団体保険	233	△ 99	△ 332	-
TLIS (旧Westpac Life)	58	87	+ 29	+ 49%

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険

# [米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

グループ連結

海外保険事業

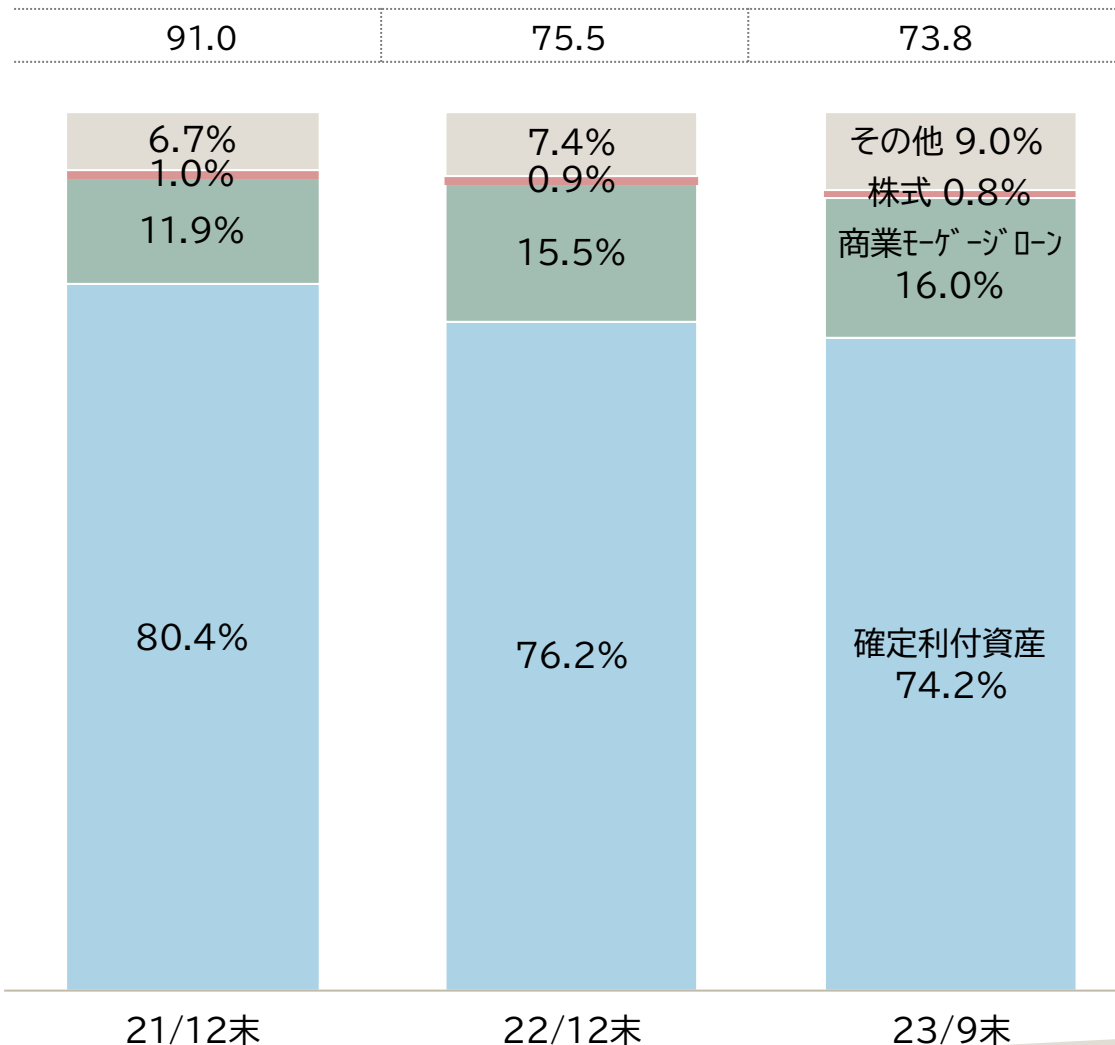
国内保険事業

その他事業



## 運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(十億米ドル)

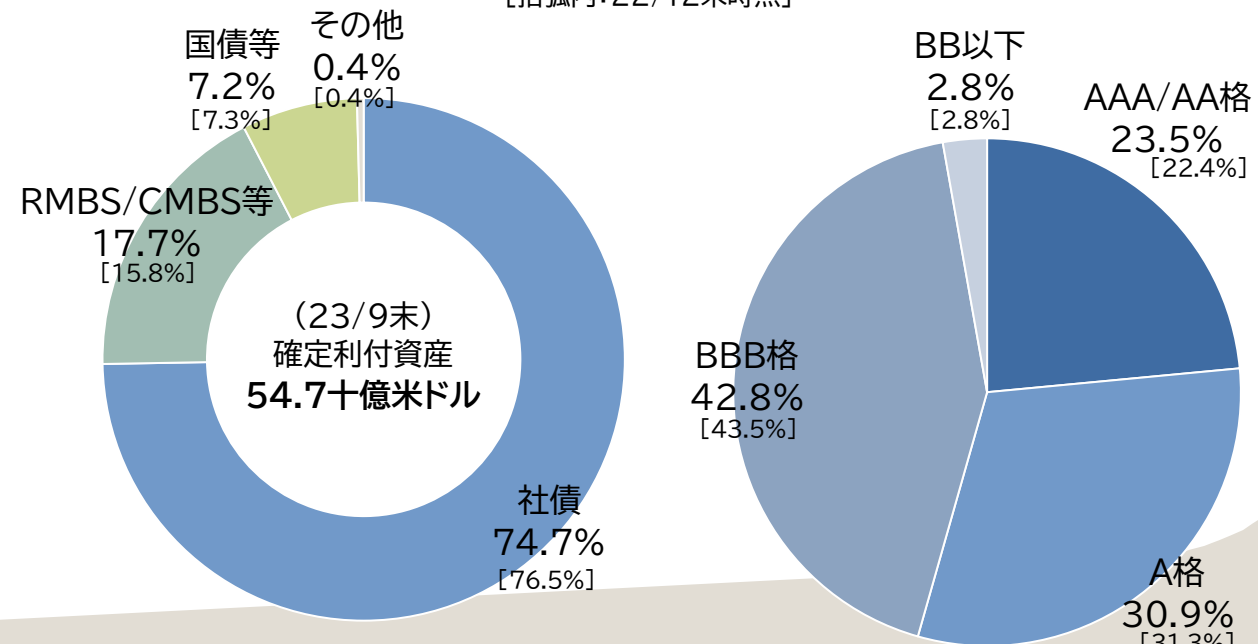


## 商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	22/12末	23/9末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	11,796	11,970	+ 174
不良債権	-	57	+57
貸倒引当金	100	127	+ 27
(対ローン残高)	0.8%	1.1%	+ 0.21%pt

## 確定利付資産の内訳および格付構成

[括弧内: 22/12末時点]



グループ修正利益

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life Holdings

(億円)		No.	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期 3Q累計	23/3期	24/3期 3Q累計
国内保険事業														
第一生命	当期利益	1	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	1,960	1,997	1,444	1,656	1,683
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	2	249	192	129	129	-	-	216	△216	-	-	-	-
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	3	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(3) MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	4	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
	調整(4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	△14	-	-	-	-	-	-
	調整額合計	6	340	189	125	127	△0	△14	216	△216	△0	△0	△0	△0
	修正利益	7	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997	1,444	1,656	1,683
第一フロンティア生命	当期利益	8	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	863	1,386	△198	64	△129
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過額、税後)	9	-	-	-	-	-	-	△300	480	15	-	△145	-
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(3) MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	11	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△772	△815	40	△87	△49
	調整(4) グループ通算制度の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	△395	-	-	-
	調整額合計	13	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△292	△1,196	40	△232	△49
	修正利益	14	△161	249	318	232	291	207	634	571	190	△157	△167	△179
ネオファースト生命	当期利益	15	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△68	△74	247	△10
	調整 グループ通算制度の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	△13	-	-	-
	修正利益	17	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△81	△74	247	△10
アイベット	当期利益	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
	修正利益	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
国内保険事業修正利益		20	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	2,174	2,106	1,211	1,739	1,504
海外保険事業														
プロテクトィブ	修正利益	21	-	-	323	457	349	335	507	374	549	29	184	△13
TAL	修正利益	22	86	121	103	127	105	98	110	152	123	291	378	355
パートナーズ・ライフ	修正利益	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	23
第一生命ベトナム	修正利益	24	10	13	5	5	△20	2	60	59	141	104	151	116
海外保険事業修正利益		25	108	157	457	615	468	469	703	602	830	443	763	493
Dai-ichi Re	当期利益	26	-	-	-	-	-	-	-	-	0	△90	△38	143
	調整 資産負債評価に係る調整	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	△106
	修正利益	28	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	△18	36
その他事業(アセットマネジメント事業)		29	44	61	59	58	53	104	120	99	52	33	37	25
持株会社・中間持株会社	修正利益	30	-	-	-	0	3	△35	△44	△40	△20	△24	△35	△26
連結調整	調整(1) 受取配当相殺	31	27	36	135	44	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(2) TAL優先株配当	32	-	-	-	-	-	10	8	7	7	8	11	11
	調整(3) 買収に伴うVIFの持株会社・中間持株会社における償却額	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	14
	調整(4) グループ内再保険に係る連結調整	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	476	7
	調整(5) 修正後発事象(シリコンバレーバンク破綻等)	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145	△145
	調整(6) のれん等償却額	36	51	86	63	56	70	82	564	57	69	64	90	86
	調整(7) 持分変動益(第一生命)	37	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
	調整(8) 持分変動益(持株会社)	38	-	-	-	△124	△335	-	-	△349	-	-	-	-
	調整(9) 米国法人税減税	39	-	-	-	-	△901	-	-	-	-	-	-	-
	調整(10) その他	40	△1	△22	△3	0	39	23	5	△8	7	15	43	36
グループ修正利益(項番41=20+25+28+29+30-31-32-33-34-35)		41	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	1,564	1,844	2,146
連結当期純利益(項番42=41-6-13-16-27-36-37-38-39-40)		42	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	324	3,637	4,093	1,444	1,923	2,179

※ TAL・PNZでは24/3期1QからIFRS17を適用しているものの、本表では前年同期(23/3期3Q累計)を含む過去数値を遡及修正していない



# [再掲]修正ROE定義および過去実績

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

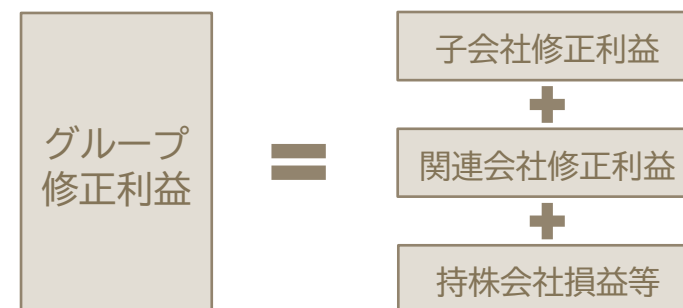
修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)\* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

\* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益<sup>(1)</sup>のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)  
第一フロンティア生命・プロテクティブ: その他有価証券評価差額金

## 修正ROE過去実績

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
(億円 / %)					
<b>グループ修正ROE</b>	<b>7.6%</b>	<b>9.5%</b>	<b>8.9%</b>	<b>8.0%</b>	<b>5.0%</b>
分子(修正利益)	2,363	2,745	2,828	2,961	1,844
分母(年度始・年度末平均)	30,958	28,753	31,723	37,146	36,553
分母(年度末)	30,907	26,599	36,847	37,444	35,662
[分母算出]					
純資産	37,124	37,758	48,062	44,078	28,726
(-) のれん	489	394	426	562	1,195
(-) 確定利付資産含み損益	5,956	12,588	12,005	6,287	△ 8,122
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	228	1,824	1,218	216	8
修正ROE用純資産	30,907	26,599	36,847	37,444	35,662
うち株主資本	17,088	16,415	18,936	19,963	19,705
<b>第一生命 修正ROE</b>	<b>7.6%</b>	<b>7.9%</b>	<b>8.4%</b>	<b>8.2%</b>	<b>7.3%</b>
分子(修正利益)	1,714	1,502	1,744	1,997	1,656
分母(年度始・年度末平均)	22,436	19,138	20,771	24,505	22,641
分母(年度末)	21,777	16,500	25,043	23,967	21,315
[分母算出]					
純資産	28,852	25,499	31,902	27,569	21,000
(-) 確定利付資産含み損益	7,075	8,998	6,858	3,602	△ 315
修正ROE用純資産	21,777	16,500	25,043	23,967	21,315
うち株主資本	6,841	6,301	6,791	6,315	5,837

## グループ修正利益の定義



【調整①】 [ 危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等  
(法定超過分、税後) ]  
加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

【調整②】 [ MVA (市場価格調整)関連損益(税後) 等 ]  
実質的でない会計上の評価損益を調整

【調整③】 [ のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等 ]  
各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益と定義

# [再掲]グループ修正利益の「HDコスト等」に含む項目追加等

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



- ▶ 23/3期において、PNZ・ipetの買収時に買収先の保有契約価値（以下VIFという）を無形資産として認識  
このVIFの償却は過去の子会社にて実施した買収により生じたVIFの償却と整合的な扱いとすべく、以下の通りHDに生じるVIF償却費用を認識
- ▶ また、同期間に実施したグループ内再保険に係る一時損益の繰延についても、以下の通り連結会計上の取扱いと整合させる形でグループ修正利益に認識

グループ修正利益

グループ各社修正利益 + HDコスト等

「HDコスト等」に含む項目の追加

①HDに生じるVIFの償却を「HDコスト等」で認識

[持株会社による買収](PNZ・ipetの買収が該当) →HDがVIF償却  
[過去の子会社による買収] →子会社がVIF償却 } 買収形態に関わらず、グループ修正利益はVIF償却費用認識後

②連結調整の対象となるグループ内再保険に係る一時損益の繰延については、会計上の純利益の取り扱いと整合的に、グループ修正利益上は「HDコスト等」で認識

グループ修正利益上の取り扱い

① HDに生じるVIF償却

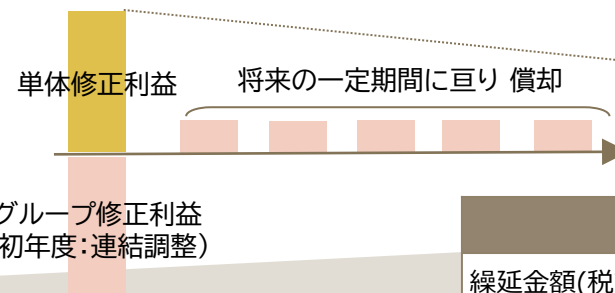
連結会計上の取扱いに準じる  
(=グループ修正利益においては  
「HDコスト等」で認識)

② 連結調整（グループ内再保険）

(参考) DLReにおける資産負債評価のミスマッチ(包括利益と純利益の差分)については、DFLにおけるMVA関連損益と同様に、修正利益上認識しない

2022年度 4Qに実施した新たなグループ内再保険について

- ✓ DFLの一時払終身・年金およびNFLの医療保険の既契約ブロックの一部をDL Reに出再。DFL・NFL単体上は責任準備金取崩しによる一時利益が発生
- ✓ 連結会社間取引から生じた未実現損益に該当するため、連結損益計算書上は認識せず繰延。



グループ修正利益  
(初年度:連結調整)

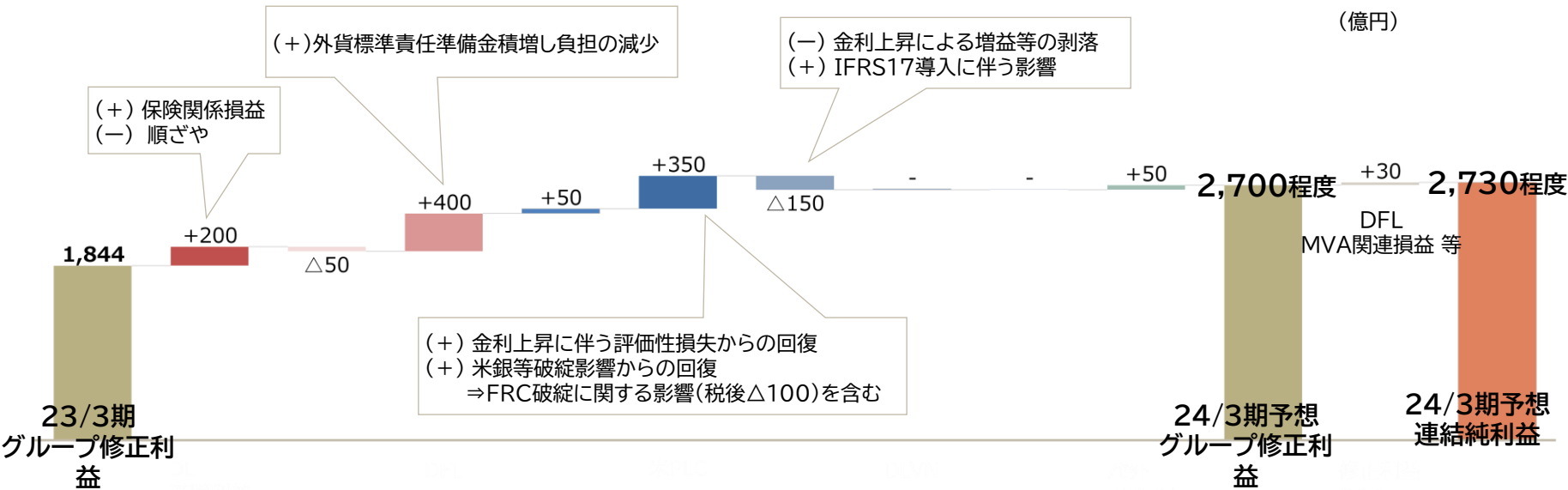
	DFL	NFL
繰延金額(税前)	137億円	339億円

[5月公表資料再掲] 2024年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

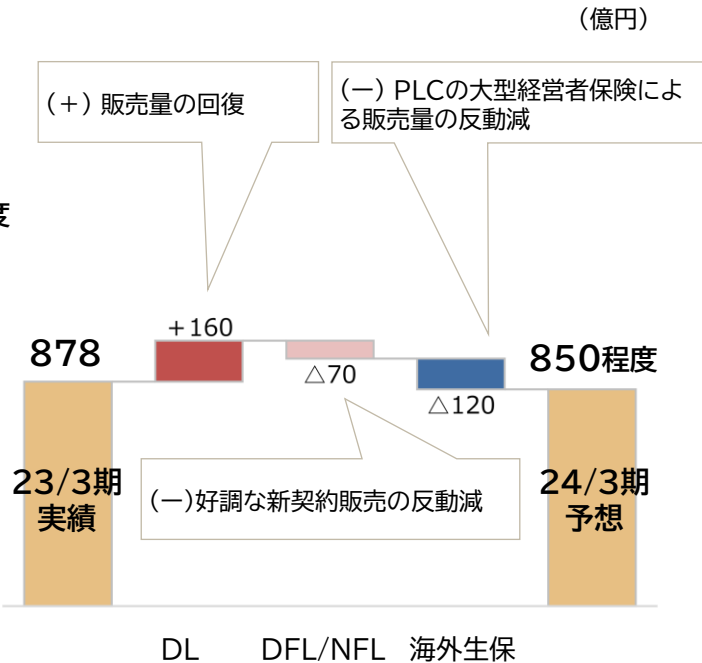
- ▶ DLでは新型コロナ関連の保険金支払の減少による増益を、利配減少を主因とする順ざやの減少等で一部相殺するものの、基礎利益は増加を見込む。DFLでは外貨標準責任準備金積増し負担、米PLCでは金利上昇による評価性損失や米銀破綻等の影響という当期の減益要因からの回復が見込まれ増益の見通し
- ▶ グループ新契約価値は、組織運営の見直しを行う等の施策でDL商品の販売量低迷は底を打つ見通しも、改善幅は限定的なものに止まる見込み。海外金利上昇による影響で販売量が大幅に増加したDFL商品やPLCの大型経営者保険販売の影響からの反動を見込み、前期並みの水準となる見通し

グループ修正利益予想・前期比変動要因

グループ新契約価値予想・前期比変動要因



	DL <sup>(1)</sup> 基礎利益	DL <sup>(1)</sup> キャピタル・ 臨時損益等	DFL	NFL	米PLC	豪TAL	DLVN	その他 海外	アセットマネジメント その他	
24/3期 予想	2,800	△950	90	△40	400	250	150	50	10	2,700程度
23/3期	2,571	△914	△304	△91	50	378	151	49	△45	1,844



DL	DFL/NFL	海外生保	
300	200	350	850 程度
140	270	467	878

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等を含めています



# [再掲] 株主還元方針

## 株主還元方針

### 追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準  
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況  
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無  
当社株価等

機動的・柔軟な  
追加還元の検討  
(21/3期より)

- 総還元性向の目安  
中期平均 50%

#### [自己株式消却方針]

用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、  
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、  
適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の  
推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

+

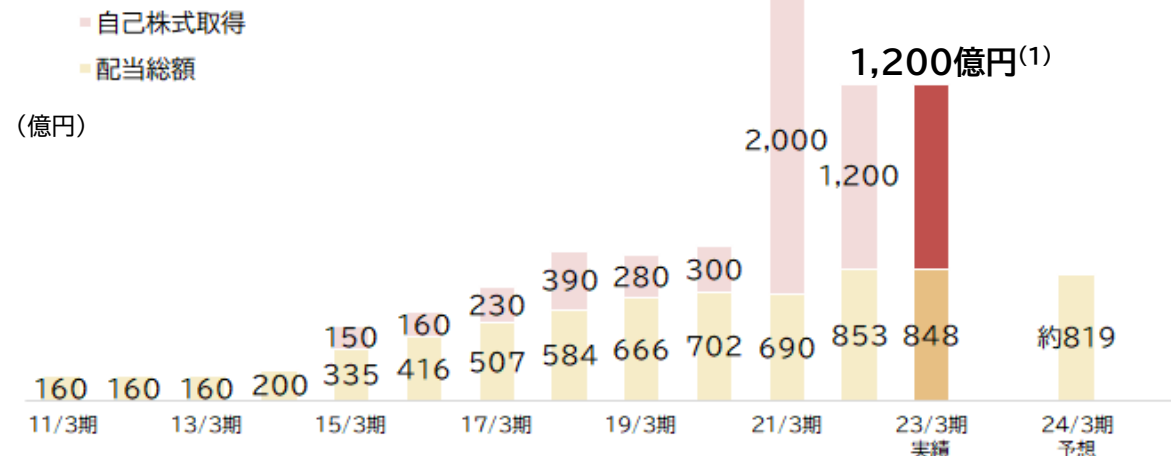
#### [配当性向の推移イメージ]

利益に応じた  
安定配当  
(22/3期より)

【配当性向】 每期 30%以上

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

## 株主還元の推移



グループ修正利益	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	1,844		2,700
過去3年平均								2,501

(円/株)

1株あたり配当金<sup>(2)</sup>



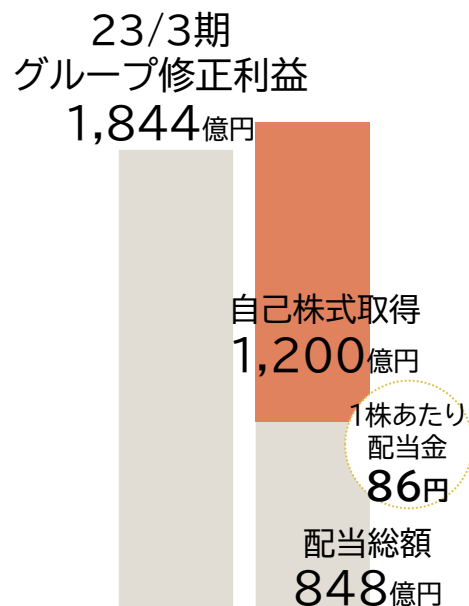
- ▶ 23/3期の株主還元は、子会社からの送金率を高めることで、グループ修正利益の過去3年平均に対する30%を上回る1株あたり配当金86円(前期比+3円増)、追加還元として、上限1,200億円とする自己株式取得を決定(2022年度単年度利益に対する総還元性向は111%)
- ▶ 24/3期の1株あたり配当金は、配当性向30%以上を前提とし、86円(前期比増減なし)を予想

## 株主還元

〔自己株式消却方針〕 使途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、使途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

### 23/3期 株主還元

1株当たり配当金は前期比3円増配の86円  
上限1,200億円とする自己株式取得を決定



#### 自己株式取得

- 以下の状況を踏まえ、自己株式取得上限1,200億円を決定
  - 資本充足率(ESR) : 226%
  - 持株会社キャッシュ : 約1,200億円(23/3末)<sup>(1)</sup>
  - 子会社からの送金 : 子会社からの送金率の上昇(DLからの特別配当等)
  - 戦略的な投資機会や当社株価の状況など

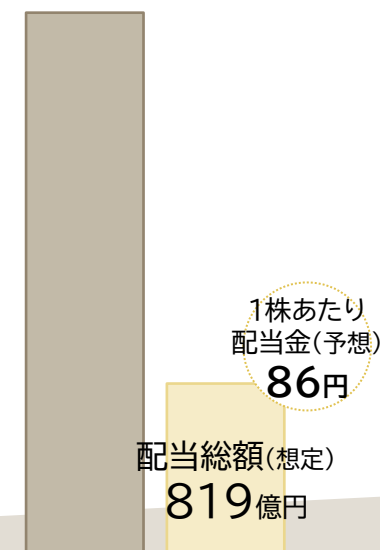
#### 現金配当

- グループ修正利益は減益となったものの、1株あたり配当金は86円(前期比+3円)

### 24/3期 株主還元(予想)

3年平均グループ修正利益は減少も、還元方針通り減配せず、1株あたり配当金は、86円の維持を予想

24/3期  
グループ修正利益予想  
2,700億円程度



#### 追加還元

- 今後の資本充足率の水準等を踏まえ、機動的・柔軟な追加還元を検討(総還元性向の目安: 中期平均50%)

#### 現金配当

- 24/3期グループ修正利益通期予想を含めた過去3年平均のグループ修正利益は減少も、株主還元方針上の原則として減配は行わない方針に従い、1株あたり配当金は86円を予想(23/3期比 ±0円)

(1) 中間持株会社におけるキャッシュ残高を含む



# 第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life Holdings

## 連結損益計算書

(億円)	23/3期 3Q累計 <sup>(1)</sup>	24/3期 3Q累計	増減
<b>経常収益</b>	<b>78,579</b>	<b>77,673</b>	<b>△ 905</b>
保険料等収入	50,528	57,044	+ 6,515
資産運用収益	18,528	18,029	△ 498
利息・配当金等収入	10,980	10,675	△ 304
有価証券売却益	4,187	3,122	△ 1,064
金融派生商品収益	919	-	△ 919
為替差益	2,254	2,371	+ 116
特別勘定資産運用益	-	1,083	+ 1,083
その他経常収益	9,522	2,600	△ 6,922
<b>経常費用</b>	<b>75,458</b>	<b>73,934</b>	<b>△ 1,524</b>
保険金等支払金	51,355	49,873	△ 1,481
責任準備金等繰入額	118	11,601	+ 11,482
資産運用費用	11,953	3,552	△ 8,401
有価証券売却損	3,723	2,172	△ 1,550
有価証券評価損	52	66	+ 13
金融派生商品費用	-	239	+ 239
為替差損	-	-	-
特別勘定資産運用損	1,280	-	△ 1,280
事業費	6,157	6,550	+ 392
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>3,120</b>	<b>3,739</b>	<b>+ 618</b>
<b>特別利益</b>	<b>37</b>	<b>6</b>	<b>△ 30</b>
<b>特別損失</b>	<b>323</b>	<b>154</b>	<b>△ 169</b>
契約者配当準備金繰入額	661	638	△ 23
<b>税金等調整前四半期純利益(△は損失)</b>	<b>2,172</b>	<b>2,952</b>	<b>+ 780</b>
法人税等合計	638	773	+ 134
<b>非支配株主に帰属する四半期純利益(△は損失)</b>	<b>-</b>	<b>0</b>	<b>+ 0</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)</b>	<b>1,533</b>	<b>2,179</b>	<b>+ 645</b>

## 連結貸借対照表

(億円)	23/3末 <sup>(1)</sup>	23/12末	増減
<b>資産の部合計</b>	<b>616,536</b>	<b>657,826</b>	<b>+ 41,289</b>
現預金・コール	25,859	24,982	△ 877
買入金銭債権	2,461	2,479	+ 18
有価証券	467,117	500,076	+ 32,959
貸付金	43,484	48,080	+ 4,595
有形固定資産	12,399	12,485	+ 85
繰延税金資産	3,345	2,544	△ 801
<b>負債の部合計</b>	<b>589,919</b>	<b>628,022</b>	<b>+ 38,103</b>
保険契約準備金	542,761	570,270	+ 27,508
責任準備金	524,987	551,485	+ 26,497
社債	9,496	9,857	+ 360
その他負債	23,625	34,923	+ 11,298
退職給付に係る負債	3,678	3,617	△ 60
価格変動準備金	3,055	3,190	+ 135
繰延税金負債	251	268	+ 16
<b>純資産の部合計</b>	<b>26,617</b>	<b>29,803</b>	<b>+ 3,186</b>
株主資本合計	17,537	18,330	+ 792
その他の包括利益累計額合計	9,074	11,470	+ 2,395
その他有価証券評価差額金	7,402	8,733	+ 1,330
土地再評価差額金	303	299	△ 4

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む  
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)



# 第一生命 – 財務諸表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life  
Holdings

## 損益計算書

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減
<b>経常収益</b>	<b>30,748</b>	<b>29,742</b>	<b>△ 1,006</b>
保険料等収入	17,236	16,895	△ 340
資産運用収益	10,501	9,076	△ 1,424
利息・配当金等収入	5,953	5,203	△ 749
有価証券売却益	3,999	3,067	△ 932
金融派生商品収益	381	-	△ 381
特別勘定資産運用益	-	720	+ 720
その他経常収益	3,011	3,770	+ 758
<b>経常費用</b>	<b>27,828</b>	<b>26,672</b>	<b>△ 1,155</b>
保険金等支払金	17,808	18,700	+ 892
責任準備金等繰入額	244	63	△ 181
資産運用費用	5,075	3,317	△ 1,758
有価証券売却損	2,960	1,788	△ 1,172
有価証券評価損	52	15	△ 37
金融派生商品費用	-	547	+ 547
為替差損	588	282	△ 305
特別勘定資産運用損	805	-	△ 805
事業費	2,882	2,774	△ 108
その他経常費用	1,816	1,816	△ 0
減価償却費	308	319	+ 10
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>2,920</b>	<b>3,069</b>	<b>+ 149</b>
<b>特別利益</b>	<b>37</b>	<b>4</b>	<b>△ 33</b>
<b>特別損失</b>	<b>283</b>	<b>106</b>	<b>△ 177</b>
契約者配当準備金繰入額	661	638	△ 23
<b>税引前四半期純利益(△は損失)</b>	<b>2,012</b>	<b>2,328</b>	<b>+ 316</b>
法人税等合計	568	645	+ 76
<b>四半期純利益(△は損失)</b>	<b>1,444</b>	<b>1,683</b>	<b>+ 239</b>

## 貸借対照表

(億円)	23/3末	23/12末	増減
<b>資産の部合計</b>	<b>342,643</b>	<b>352,776</b>	<b>+ 10,132</b>
現預金・コール	11,216	8,799	△ 2,417
買入金銭債権	2,245	2,262	+ 16
有価証券	279,758	291,086	+ 11,328
貸付金	27,154	29,850	+ 2,696
有形固定資産	12,038	12,112	+ 74
繰延税金資産	910	-	△ 910
<b>負債の部合計</b>	<b>321,643</b>	<b>328,948</b>	<b>+ 7,304</b>
保険契約準備金	298,770	296,230	△ 2,539
責任準備金	292,543	290,127	△ 2,416
危険準備金	5,998	5,758	△ 240
社債	3,687	3,687	-
その他負債	11,412	21,065	+ 9,652
退職給付引当金	3,927	3,857	△ 69
価格変動準備金	2,634	2,724	+ 90
繰延税金負債	-	502	+ 502
<b>純資産の部合計</b>	<b>21,000</b>	<b>23,828</b>	<b>+ 2,827</b>
株主資本合計	5,837	5,163	△ 673
評価・換算差額等合計	15,163	18,664	+ 3,501
その他有価証券評価差額金	15,235	19,127	+ 3,891
土地再評価差額金	303	299	△ 4

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む  
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

# 第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life  
Holdings

## 損益計算書

(億円)	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減
<b>経常収益</b>	<b>31,270</b>	<b>31,081</b>	<b>△ 188</b>
保険料等収入	19,663	26,009	+ 6,346
資産運用収益	4,336	5,071	+ 734
為替差益	2,833	2,663	△ 170
<b>経常費用</b>	<b>31,496</b>	<b>31,235</b>	<b>△ 261</b>
保険金等支払金	28,744	22,572	△ 6,171
責任準備金等繰入額	31	7,459	+ 7,428
危険準備金繰入額	58	237	+ 178
資産運用費用	1,958	247	△ 1,711
為替差損	-	-	-
事業費	638	790	+ 151
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>△226</b>	<b>△153</b>	<b>+ 72</b>
<b>特別利益</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>特別損失</b>	<b>40</b>	<b>45</b>	<b>+ 5</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>△67</b>	<b>△68</b>	<b>△ 0</b>
<b>四半期純利益(△は損失)</b>	<b>△198</b>	<b>△129</b>	<b>+ 68</b>

## 貸借対照表

(億円)	23/3末	23/12末	増減
<b>資産の部合計</b>	<b>86,383</b>	<b>94,068</b>	<b>+ 7,684</b>
現預金・コール	7,585	5,876	△ 1,709
有価証券	67,143	75,646	+ 8,502
<b>負債の部合計</b>	<b>84,418</b>	<b>92,148</b>	<b>+ 7,729</b>
保険契約準備金	76,503	83,963	+ 7,459
責任準備金	76,208	83,615	+ 7,407
(MVA残高)	12	2	△ 10
危険準備金	994	1,232	+ 237
<b>純資産の部合計</b>	<b>1,965</b>	<b>1,920</b>	<b>△ 44</b>
株主資本合計	2,415	2,285	△ 129
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	565	435	△ 129
その他有価証券評価差額金	△450	△365	+ 85

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む  
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

# 米プロテクトィブ – 財務諸表(要約)<sup>(1)</sup>

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life  
Holdings

## 損益計算書

(百万米ドル)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	増減
<b>経常収益</b>	<b>12,062</b>	<b>8,807</b>	<b>△ 3,255</b>
保険料等収入	4,684	4,717	+ 33
資産運用収益	3,078	3,042	△ 35
その他経常収益	4,300	1,046	△ 3,253
<b>経常費用</b>	<b>12,037</b>	<b>8,816</b>	<b>△ 3,220</b>
保険金等支払金	4,756	4,556	△ 200
責任準備金等繰入額	-	2,585	+ 2,585
資産運用費用	3,709	550	△ 3,158
事業費	883	915	+ 31
その他経常費用	2,687	208	△ 2,478
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>25</b>	<b>△9</b>	<b>△ 34</b>
<b>特別利益</b>	<b>-</b>	<b>0</b>	<b>+ 0</b>
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>+ 0</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>△ 4</b>
<b>四半期純利益(△は損失)</b>	<b>20</b>	<b>△9</b>	<b>△ 29</b>

## 貸借対照表

(百万米ドル)	22/12末	23/9末	増減
<b>資産の部合計</b>	<b>113,151</b>	<b>111,872</b>	<b>△ 1,278</b>
現預金	568	576	+ 7
有価証券	72,834	70,592	△ 2,241
貸付金	13,286	13,442	+ 156
有形固定資産	222	208	△ 14
無形固定資産	4,066	3,858	△ 208
のれん	983	982	△ 0
その他の無形固定資産	3,055	2,843	△ 212
再保険貸	11,719	11,694	△ 25
<b>負債の部合計</b>	<b>110,930</b>	<b>110,754</b>	<b>△ 176</b>
保険契約準備金	103,105	103,237	+ 132
再保険借	632	575	△ 56
社債	1,988	2,001	+ 13
その他負債	5,138	4,914	△ 223
<b>純資産の部合計</b>	<b>2,220</b>	<b>1,118</b>	<b>△ 1,101</b>
株主資本合計	7,775	7,766	△ 9
その他の包括利益累計額合計	△5,554	△6,647	△ 1,092

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

損益計算書

(百万豪ドル)	23/3期 3Q累計 <sup>(2)</sup>	24/3期 3Q累計	増減
経常収益	6,386	6,522	+ 135
保険料等収入	5,713	6,002	+ 289
資産運用収益	7	329	+ 321
その他経常収益	665	190	△ 475
経常費用	5,822	6,014	+ 191
保険金等支払金	4,820	4,938	+ 118
責任準備金等繰入額	-	-	-
資産運用費用	152	52	△ 99
事業費	840	1,012	+ 171
その他経常費用	9	10	+ 1
経常利益(△は損失)	563	508	△ 55
特別損益(△は損失)	-	△0	△ 0
法人税等合計	148	152	+ 3
四半期純利益(△は損失)	415	355	△ 59
基礎的収益力 <sup>(3)</sup>	257	343	+ 86

貸借対照表

(百万豪ドル)	23/3末 <sup>(2)</sup>	23/12末	増減
資産の部合計	17,932	17,642	△ 290
現預金	738	821	+ 83
有価証券	9,720	9,715	△ 5
有形固定資産	17	10	△ 7
無形固定資産	786	786	-
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	-	-	-
再保険貸	-	-	-
その他資産	5,161	4,964	△ 196
繰延税金資産	1,507	1,343	△ 163
負債の部合計	15,733	15,338	△ 395
保険契約準備金	14,256	13,933	△ 323
再保険借	-	-	-
社債	-	-	-
その他負債	1,477	1,405	△ 71
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	2,198	2,303	+ 105
株主資本合計	2,198	2,303	+ 105
資本金	3,055	3,055	-
利益剰余金	△857	△752	+ 105

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示  
(2) IFRS17適用に伴い、前年同期および前期末(23/3期3Q累計・23/3末)の数値についてもIFRS17ベースに遡及修正  
(3) 従来は、豪TALよりグループ会社(DL)に再保険(出再)を行ったことに伴う損益を基礎的収益力(税引後)に含め、基礎的収益外損益(税引後)から控除する取扱いをしていたが、23/3期4Qより当該損益は基礎的収益力(税引後)に含めない取扱いに変更

# 第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)<sup>(1)</sup>

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



Dai-ichi Life  
Holdings

## 損益計算書

(十億越ドン)	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	増減
<b>経常収益</b>	<b>17,766</b>	<b>17,067</b>	<b>△ 699</b>
保険料等収入	16,101	14,742	△ 1,359
資産運用収益	1,662	2,322	+ 659
その他経常収益	2	2	△ 0
<b>経常費用</b>	<b>15,623</b>	<b>14,688</b>	<b>△ 935</b>
保険金等支払金	2,921	4,003	+ 1,081
責任準備金等繰入額	5,123	5,083	△ 40
資産運用費用	266	-	△ 266
事業費	7,234	5,525	△ 1,709
その他経常費用	76	76	△ 0
<b>経常利益(△は損失)</b>	<b>2,143</b>	<b>2,378</b>	<b>+ 235</b>
<b>特別利益</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>△ 0</b>
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>+ 0</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>430</b>	<b>473</b>	<b>+ 43</b>
<b>四半期純利益(△は損失)</b>	<b>1,716</b>	<b>1,907</b>	<b>+ 191</b>

## 貸借対照表

(十億越ドン)	22/12末	23/9末	増減
<b>資産の部合計</b>	<b>58,219</b>	<b>64,262</b>	<b>+ 6,042</b>
現預金	12,864	11,395	△ 1,469
有価証券	35,492	40,848	+ 5,355
貸付金	1,259	1,542	+ 282
有形固定資産	105	152	+ 46
無形固定資産	67	46	△ 21
再保険貸	-	2	+ 2
<b>負債の部合計</b>	<b>39,870</b>	<b>44,475</b>	<b>+ 4,605</b>
保険契約準備金	37,083	42,167	+ 5,083
再保険借	87	44	△ 43
その他負債	2,695	2,260	△ 435
<b>純資産の部合計</b>	<b>18,349</b>	<b>19,786</b>	<b>+ 1,437</b>
株主資本合計	18,349	19,786	+ 1,437

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトイブ			豪TAL <sup>(1)</sup>			第一生命ベトナム			連結 <sup>(1)</sup>		
	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	増減	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減	22/12期 3Q累計	23/12期 3Q累計	増減	23/3期 3Q累計	24/3期 3Q累計	増減
経常収益	30,748	29,742	△ 1,006	31,270	31,081	△ 188	1,672	2,474	+ 802	17,468	13,173	△ 4,294	5,720	6,322	+ 602	1,083	1,045	△ 38	78,579	77,673	△ 905
保険料等収入	17,236	16,895	△ 340	19,663	26,009	+ 6,346	1,668	1,662	△ 6	6,783	7,057	+ 273	5,117	5,818	+ 701	982	902	△ 79	50,528	57,044	+ 6,515
資産運用収益	10,501	9,076	△ 1,424	4,336	5,071	+ 734	3	5	+ 1	4,457	4,551	+ 93	6	318	+ 312	101	142	+ 40	18,528	18,029	△ 498
利息・配当金等収入	5,953	5,203	△ 749	1,323	1,498	+ 174	3	5	+ 1	3,591	3,852	+ 261	6	18	+ 12	101	120	+ 19	10,980	10,675	△ 304
有価証券売却益	3,999	3,067	△ 932	175	12	△ 163	-	-	-	14	43	+ 28	-	-	-	-	-	-	4,187	3,122	△ 1,064
金融派生商品収益	381	-	△ 381	-	458	+ 458	-	-	-	837	-	△ 837	-	-	-	-	-	-	919	-	△ 919
為替差益	-	-	-	2,833	2,663	△ 170	-	-	-	-	-	-	-	0	+ 0	0	0	△ 0	2,254	2,371	+ 116
特別勘定資産運用益	-	720	+ 720	-	363	+ 363	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,083	+ 1,083
その他経常収益	3,011	3,770	+ 758	7,270	0	△ 7,269	0	807	+ 807	6,227	1,565	△ 4,661	596	184	△ 411	0	0	+ 0	9,522	2,600	△ 6,922
経常費用	27,828	26,672	△ 1,155	31,496	31,235	△ 261	1,772	2,485	+ 712	17,430	13,187	△ 4,243	5,215	5,830	+ 614	953	899	△ 53	75,458	73,934	△ 1,524
保険金等支払金	17,808	18,700	+ 892	28,744	22,572	△ 6,171	1,441	2,007	+ 565	6,887	6,815	△ 72	4,317	4,787	+ 469	178	245	+ 66	51,355	49,873	△ 1,481
責任準備金等繰入額	244	63	△ 181	31	7,459	+ 7,428	62	192	+ 130	-	3,867	+ 3,867	-	-	-	312	311	△ 1	118	11,601	+ 11,482
資産運用費用	5,075	3,317	△ 1,758	1,958	247	△ 1,711	0	3	+ 3	5,371	823	△ 4,547	136	51	△ 85	16	-	△ 16	11,953	3,552	△ 8,401
有価証券売却損	2,960	1,788	△ 1,172	1,036	238	△ 797	-	-	-	11	144	+ 133	-	-	-	-	-	-	3,723	2,172	△ 1,550
有価証券評価損	52	15	△ 37	-	-	-	-	3	+ 3	△ 0	216	+ 216	-	-	-	-	-	-	52	66	+ 13
金融派生商品費用	-	547	+ 547	298	-	△ 298	-	-	-	-	151	+ 151	-	-	-	-	-	-	-	239	+ 239
為替差損	588	282	△ 305	-	-	-	-	-	-	0	0	△ 0	0	-	△ 0	-	-	-	-	-	-
特別勘定資産運用損	805	-	△ 805	475	-	△ 475	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,280	-	△ 1,280
事業費	2,882	2,774	△ 108	638	790	+ 151	247	256	+ 9	1,279	1,369	+ 89	752	981	+ 228	441	338	△ 102	6,157	6,550	+ 392
経常利益(△は損失)	2,920	3,069	+ 149	△ 226	△ 153	+ 72	△ 99	△ 10	+ 89	37	△ 13	△ 50	504	492	△ 12	130	145	+ 14	3,120	3,739	+ 618
特別利益	37	4	△ 33	-	-	-	-	-	-	-	1	+ 1	-	-	-	0	0	△ 0	37	6	△ 30
特別損失	283	106	△ 177	40	45	+ 5	0	0	+ 0	0	0	+ 0	-	0	+ 0	0	0	+ 0	323	154	△ 169
契約者配当準備金繰入額	661	638	△ 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	661	638	△ 23
税金等調整前当期純利益	2,012	2,328	+ 316	△ 266	△ 198	+ 67	△ 99	△ 10	+ 89	36	△ 12	△ 49	504	491	△ 12	130	145	+ 14	2,172	2,952	+ 780
法人税等合計	568	645	+ 76	△ 67	△ 68	△ 0	△ 25	△ 0	+ 25	7	0	△ 6	132	147	+ 14	26	28	+ 2	638	773	+ 134
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	+ 0
四半期純利益(△は損失)	1,444	1,683	+ 239	△ 198	△ 129	+ 68	△ 74	△ 10	+ 64	29	△ 13	△ 42	371	344	△ 27	104	116	+ 12	1,533	2,179	+ 645

(1) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前年同期(23/3期3Q累計)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)



主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトィブ			豪TAL <sup>(1)</sup>			第一生命ベトナム			連結 <sup>(1)</sup>		
	23/3末	23/12末	増減	23/3末	23/12末	増減	23/3末	23/12末	増減	22/12末	23/9末	増減	23/3末	23/12末	増減	22/12末	23/9末	増減	23/3末	23/12末	増減
資産の部合計	342,643	352,776	+ 10,132	86,383	94,068	+ 7,684	4,103	3,512	△ 590	150,152	167,339	+ 17,187	16,083	17,102	+ 1,018	3,260	3,936	+ 675	616,536	657,826	+ 41,289
現預金・コール	11,216	8,799	△ 2,417	7,585	5,876	△ 1,709	2,626	1,842	△ 784	754	861	+ 107	662	796	+ 134	720	697	△ 22	25,859	24,982	△ 877
買入金銭債権	2,245	2,262	+ 16	215	217	+ 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,461	2,479	+ 18
有価証券	279,758	291,086	+ 11,328	67,143	75,646	+ 8,502	1,005	1,113	+ 107	96,650	105,592	+ 8,941	8,718	9,417	+ 699	1,987	2,501	+ 514	467,117	500,076	+ 32,959
貸付金	27,154	29,850	+ 2,696	-	-	-	19	18	△ 1	17,631	20,107	+ 2,476	-	-	-	70	94	+ 23	43,484	48,080	+ 4,595
有形固定資産	12,038	12,112	+ 74	11	10	△ 1	2	3	+ 0	295	311	+ 16	16	10	△ 5	5	9	+ 3	12,399	12,485	+ 85
無形固定資産	1,246	1,194	△ 52	163	162	△ 1	96	103	+ 6	5,396	5,771	+ 374	705	762	+ 57	3	2	△ 0	7,367	7,550	+ 183
繰延税金資産	910	-	△ 910	526	566	+ 39	13	12	△ 0	624	1,239	+ 615	1,351	1,302	△ 49	3	3	+ 0	3,345	2,544	△ 801
負債の部合計	321,643	328,948	+ 7,304	84,418	92,148	+ 7,729	3,734	3,152	△ 582	147,205	165,665	+ 18,460	13,914	14,655	+ 741	2,232	2,724	+ 491	589,919	628,022	+ 38,103
保険契約準備金	298,770	296,230	△ 2,539	76,503	83,963	+ 7,459	3,663	3,053	△ 610	136,820	154,423	+ 17,602	12,787	13,506	+ 719	2,076	2,582	+ 506	542,761	570,270	+ 27,508
責任準備金	292,543	290,127	△ 2,416	76,208	83,615	+ 7,407	3,613	2,810	△ 802	135,474	153,016	+ 17,541	3,287	3,141	△ 146	2,013	2,507	+ 494	524,987	551,485	+ 26,497
社債	3,687	3,687	-	-	-	-	-	-	-	2,208	2,486	+ 278	-	-	-	-	-	-	9,066	9,349	+ 283
その他負債	11,412	21,065	+ 9,652	2,505	3,547	+ 1,042	66	58	△ 7	6,819	7,859	+ 1,040	1,127	1,148	+ 21	150	138	△ 12	23,625	34,923	+ 11,298
退職給付に係る負債	3,927	3,857	△ 69	-	-	-	-	-	-	87	36	△ 51	-	-	-	0	0	+ 0	3,678	3,617	△ 60
価格変動準備金	2,634	2,724	+ 90	420	465	+ 45	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,055	3,190	+ 135
繰延税金負債	-	502	+ 502	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	251	268	+ 16
純資産の部合計	21,000	23,828	+ 2,827	1,965	1,920	△ 44	368	360	△ 8	2,946	1,673	△ 1,273	2,168	2,446	+ 277	1,027	1,211	+ 184	26,617	29,803	+ 3,186
株主資本合計	5,837	5,163	△ 673	2,415	2,285	△ 129	369	359	△ 10	9,072	9,058	△ 13	1,911	2,029	+ 118	948	1,036	+ 87	17,537	18,330	+ 792
その他の包括利益累計額合計	15,163	18,664	+ 3,501	△ 450	△ 365	+ 85	△ 1	0	+ 2	△ 6,125	△ 7,385	△ 1,259	257	417	+ 159	79	175	+ 96	9,074	11,470	+ 2,395
その他有価証券評価差額金	15,235	19,127	+ 3,891	△ 450	△ 365	+ 85	△ 1	0	+ 2	△ 7,356	△ 9,956	△ 2,600	-	-	-	-	-	-	7,402	8,733	+ 1,330
土地再評価差額金	303	299	△ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	303	299	△ 4

(1) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、前期末(23/3末)の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)

# 第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

その他事業



(億円)	23/3末	23/12末	増減
<b>ソルベンシー・マージン総額(A)</b>	<b>59,751</b>	<b>62,581</b>	<b>+ 2,829</b>
資本金等 <sup>(1)</sup>	12,798	12,193	△ 604
価格変動準備金	3,055	3,190	+ 135
危険準備金	7,007	7,007	△ 0
異常危険準備金	54	62	+ 8
一般貸倒引当金	15	24	+ 9
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	9,947	11,656	+ 1,708
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	3,784	3,901	+ 116
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	323	260	△ 63
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,059	23,434	+ 375
負債性資本調達手段等	9,237	9,237	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,320	△5,971	+ 1,348
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0	+ 0
控除項目	△2,855	△3,581	△ 725
その他	644	1,165	+ 521
<b>リスクの合計額(B)</b> $\sqrt{[\{(R_1^2+R_5^2)+R_8+R_9\}^2+(R_2+R_3+R_7)^2]+R_4+R_6}$	<b>16,971</b>	<b>19,294</b>	<b>+ 2,322</b>
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	1,661	1,662	+ 1
一般保険リスク相当額 R <sub>5</sub>	148	232	+ 83
巨大災害リスク相当額 R <sub>6</sub>	17	19	+ 1
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	1,882	1,822	△ 59
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R <sub>9</sub>	0	0	+ 0
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	2,074	2,253	+ 178
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub> <sup>(2)</sup>	746	807	+ 60
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	13,350	15,441	+ 2,091
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	397	444	+ 47
<b>ソルベンシー・マージン比率 (A)／{(1/2)×(B)}</b>	<b>704.1%</b>	<b>648.6%</b>	<b>△55.5%pt</b>

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先  
第一生命ホールディングス株式会社  
経営企画ユニット IRグループ

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。